

# ばんえい

DRAFT RACE

NO. 14



北海道市営競馬協議会

2/2



## 目 次

会報発刊に寄せて……………	3
岐路にたたされた競馬経営……………	4
メカトロニクス競馬……………	5
ばんえい競馬海を渡る……………	7
連続三年ダウンの厳しい年……………	10
ばんえい競走執務二十年を省りみて……………	14
農用種雄馬(ばんえい馬)の購買と配置……………	15
農林水産大臣賞典……………	16
マスコミに取上げられたばんえい……………	18
まだ日本に輸入されたことのない馬の紹介……………	22
ばんえい競走広報活動実施状況……………	23
ばんえい便り……………	24
市営施行三十周年で念願達成……………	28
三場揃って道営競馬を追こす……………	28
各地の祭典ばんば……………	29
昭和五十八年度北海道市営競馬協議会馬産奨励……………	29
事業奨励者名簿……………	33
昭和五十九年番組編成要領……………	43
昭和五十八年度リディング……………	44
昭和五十八年度種雄馬ランキング……………	55
昭和五十八年度賞金受賞ランキング……………	46
昭和五十八年度道、市営競馬成績……………	47
昭和五十八年度引退馬……………	48
昭和五十九年度市営競馬日程表(予定)……………	56
昭和五十九年度道営競馬日程表(予定)……………	56

# 会報発刊に寄せて



北海道市営競馬協議会

会長 坂 東 徹

の厳しい結果はあまりにも無残であり残念とし  
か言いようがありません。

しかし、この事態を謙虚に受け止めるなら、  
今後のばんえい競馬の進む道は、ばんえい走路  
のように真直続いているが、砂深い苦難の道で  
あり茨は続くのだということを教訓として受け  
止めなければならぬのではないか。

以上のような現況をふまえ、昭和五十九年度  
の競馬開催に当っては四主催市相互扶助という  
基本的柱をより強化し、一部事務組合の早期発  
足、相互場外の積極的推進、更に収益事業とし  
ての抜本的見直し等、健全な事業遂行のため鋭  
意努力しなければならぬと痛感いたすところ  
であります。

今後とも関係各機関の御指導、御鞭撻を心よ  
りお願い申し上げます、会報発刊にあたって  
のことばと致します。

昭和五十八年度の会報発刊にあたり、関係各  
位皆様のご健勝をお喜び申し上げますとともに、  
日頃から市営競馬の運営につきまして、御指導  
御協力を賜わり深く感謝申し上げます。

さて昭和五十八年度の市営競馬は、施行三十  
周年並びに本会設立十五周年という二重の記念  
すべき年を迎え、その輝かしい節目に希望を託  
し、昭和五十五年度をピークに下降線をたどつ  
ている売得金額に歯止めを掛けようと四主催市  
それぞれ趣向をこらし、ファンサービスの拡充  
を始め、ばんえい競馬のイメージチェンジを図

る広報内容の改善、公正競馬の強化等、大衆レ  
ジャーとしてのばんえい競馬を周知徹底させた  
く懸命な努力をした訳でございます。

しかし、経済情勢は未だ低迷を続け、更にレ  
ジャーの多様化等によるファンの競馬離れが進  
捗し、昭和五十八年度の売得金額は二三五億六、  
九〇一百万円、前年比九四・四％と三年続いて前  
年度を下廻るといふ最悪の一年でありました。

昭和二十八年ばんえい競馬が茨の道をスター  
トし、効率的近代競馬というターゲットに一直  
線に歩み続けてちょうど三十年、この祝年にこ





# 岐路にたたされた競馬経営

帯広市農務部長

菅原 靖 夫

とができたと思つてゐる。

今年は更に相互場外を増やし、釧路場外も実施できる目途がつき明るい見透しがつき更に今年は七・八月と日没の遅い時期の開催となったので薄暮レースを計画しているところであり、何とか低落しないよう努力を続けている次第であります。

しかしながら現状ではこの程度が限界で更に振興策を考えるとすれば、

ナイター競馬の導入であり、冬期間の開催となろう。

又場外の増大を図るならば札幌進出が最大の課題となろう。

いずれにしても困難な問題をかかえているが、これら実現に向けて進まなければばんえいの将来は無く、尻つぼみに終る恐れは十分にある。

これらばんえい四市の共通の問題として考えるならば早急に一部事務組合の設立が成されなければ不可能であろう。

今急激に盛り上つた機会に小異を捨てて一致団結、組合結成にまい進しよう。

『弾力条項が適用になりました』この忘れかけた言葉が毎年繰返すことを祈念します。

ても悲観的にならざるを得ない近況である。

先日新聞を見ていると

『常滑市の成人式で競艇の招待券を配布、若者にギャンブルを奨励するのかが問題になり急廻回収した』

との記事が目に入り痛感した事であるが主催者の若者獲得の焦りと、今だに公営競技をギャンブルとしてしか見ない国民性を表して残念だと思つし、将来に向つて前途多難を思わす事件であつた。

しからば今何をなすべきか。

農林水産省も昨年、政令の改正、通達の見直し等で積極的に振興策にのり出したが、これらを実施するのはあくまでも主催者である。

帯広市でも昨年北見市の御協力により相互場外と取り組み全レース前売発売も実施することができ、低落の歯止めに効果ある実績を残すこ

『駐車場が満杯になりました』『窓口を締切れません、日没が心配です』『出馬表が余つていませんか、全くなくなりました』『弾力条項が適用になりました』これらの連絡で委員長室の電話が鳴りつばなしの夢を最近見た。

もう夢でしかないのだろうか。

五十五年をピークとして、ばんえい競馬も年々売上げが低下毎日売上げを気にし減額の心配をしなければならなくなつてしまつた。

かつてのブーム再来は、あるのだろうか、ないのだろうか。

結論から言うなら NOと言わざるを得ない。

景気は輸出産業を中心に向上きになつてゐるが、かつての高度経済成長は望めず一度離れたファンが戻ってくる保障はない、新しいファンの開拓も容易でない、パチンコブーム、ゴルフブームに打ち勝つ決定的なものがない、どうし

# メカトロニクス競馬

北見市農務部参事

坂井清治

……とすれば競馬の在り方も検討し直さなければならぬだろう。

では現在のメカと競馬をどう結び付けるかと言う事だが、一つのアイデアとして、競馬場内の一角にパソコン室を設置するのである。そのパソコンには、出走馬に関する全ての資料をインプットしておくのである。

即ち、馬の成績、健康状態、馬場や騎手との

現在の公営競技は、全国的に不況の波をかぶり、沈没寸前の様相を呈しているが、ばんえい競馬も、三、四年前の上昇一途の形からなだれ現象的に不振になり、他場と全く同じになつてまいりました。この不振は、昭和二十年代、三

十年代前半の苦難時代に戻つた感じがするのですが、昔時に先人達が切り開いて来た英知と勇気を再認識し、これを打開しなければならぬ。しかし、この不振の原因は昔時と様相を異にしているのである。そのためこれらの原因を分析し、それに対応する新しい発想が求められるのである。

特に若年層の変化がはげしく、小学生向きのマンガの本には性を題材にしたものが、そのものズバリで記載されている。一方に於て、街のマイコンショップでは、高価なパソコンをオモチャとしてキーをたたき楽しんでるのである。

若者や大学生の間での人気のアニメは、キャッツアイとガンダムと言うロマンとメカトロニクスの取り合せである。と言う事は、メカの中にロマンを求めているのであろうか。

今一番大衆化している娯楽は残念ながら公営競技ではなく、パチンコであることは衆目の一致するところだろう。では何故パチンコがこんなに隆盛になったのだろうか。それはパチンコを精密機械化し、マイコンを組み入れ若者達のニーズに答えたためだと思われる。あの騒音と軍艦マーチの中で機械を自分の意志で制御することに快感とロマンを見出し出しているのであらうか。

我々競馬担当者は、澄みきつた青空の下で繰り広げられる躍動美あふれる馬のドラマこそ、快感とロマンが有ると信じていたのだが、現代の若者達のニーズは変わってしまったのだろうか



相関関係や天候との関係等である。ファンは自分がほしいと思う資料を引きだすと共に、自分で開発したソフトによって、勝馬を予想するのである。又、このマイコンと場内のトーターを接続し、その場所で馬券の購入や払戻しをうけるようにするのである。

一方、予想業者は人間の目と感をもとにしたもので予想させるので、人間対メカニクスの面白い競合が見られるのである。

又、打ち上げられている静止衛星を利用して全国各地の競馬実況を自分の好みに合せて選局して楽しむだけでなく、TABのように馬券の購入も出来るようにするのである。しかしこれは夢ではなく、今回の政省令の改正を基にして県同志の相互場外が実現してくると思われるので楽しみである。

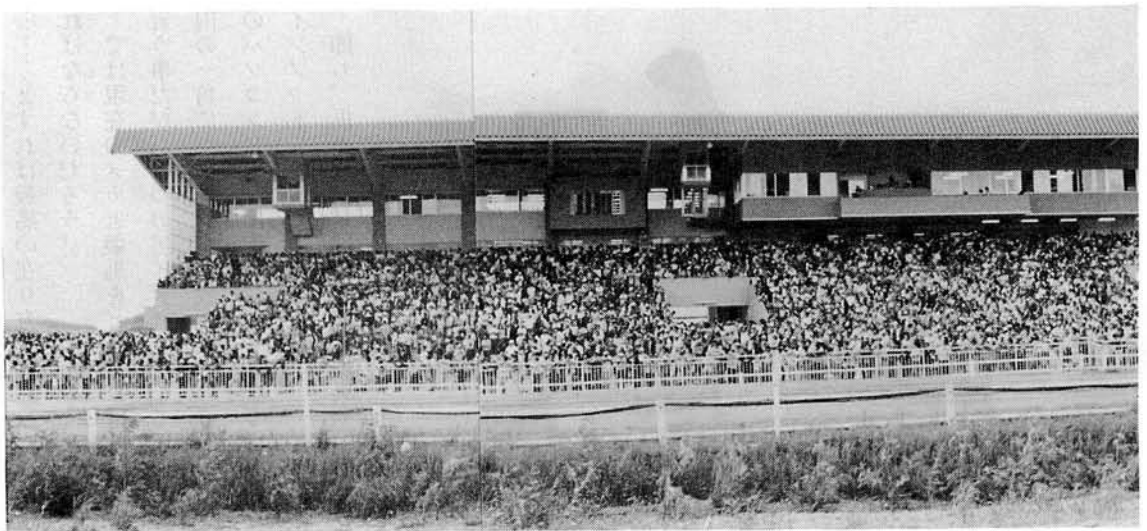
又、今後のニューメディアを利用して、ファンは競馬場にわざわざ出掛けなくても街の中でテレトラックシアターを設置して、買物の折に楽しむとか、家庭でパーソナル型の電話投票を楽しむとかが可能になってくると思われる。ネクラ族の若者達には、こんな形にでもしなければ顔を向かせるのは無理なのかもしれない。

今迄、我々主催者は自分の概念の中から、はみ出さない程度の中で合理化、機械化を行って

来たきらいがあるが、このような不振な時代に直面して来たら大きな発想の転換をしてファンがもっとも合理化と思える方法に、メディアやマシンを導入して行かなければならないのではないかと思われる。それがもし脇道にそれた邪道であつてもだ。

これからの競馬界を背負い、リーダーシップを発揮して来る人は、今迄のように馬関係者や獣医等ではなく、電子工学や社会学の専門家になってくると思われる。この様な人々に我々老兵は早くにバトンタッチをしなければ、ますます沈没して行くかもしれない。

競馬を担当する若者達が、新しい発想の下にこれを具現化し、飛躍することを期待する。



# ばんえい競馬海を渡る

岩見沢市農務部長

谷村 寿昭

岩手県競馬組合主催の第6回東北ダービーの  
アトラクション水沢ばんえい競馬に参加のため、  
九月二十四日小雨降る花巻空港に到着する。水  
沢市渡辺係長の出迎への車に乗って、明日の天  
気を気にしながら東北自動車道路を一路、水沢  
競馬場へと向う。

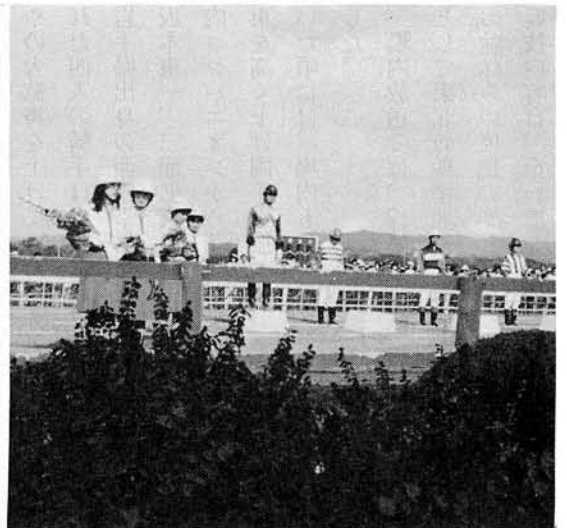
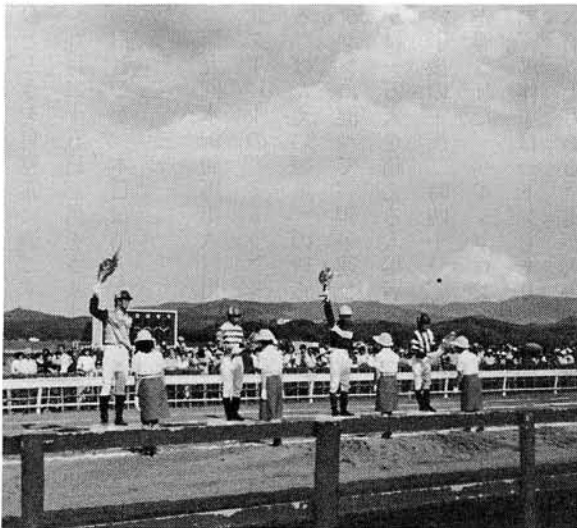
水沢市は、穀倉北上平野の中心都市として農  
産物の集散の拠点とし、また南部鑄物の生産地  
でも有名な処で古くから栄えた街であります。

この企画は、明治時代後半の北海道は、いた  
る所無人の原野でした。「イタドリ」が群生する  
大湿地帯、馬追原野もその一つでしたが、この地  
原野を開拓しようとする一人の青年が、この地  
に鉄を入れたのが明治二十年、水沢市出身の吉  
川鉄之助さんでした。機械も無い時代の開拓で、  
その労苦は大変なものだったということです。  
この開拓地こそ、のち長沼ナイキ事件で有名に

なった長沼町で、吉川さんは初代戸長〔現在の  
町長〕として長沼町発展に大変尽力されました。  
こうした縁で、水沢市と長沼町との間に姉妹都  
市が締結され、今年で十年目を迎えております。

この十周年を記念して、本場北海道の「ばん  
えい競走」をと、水沢市、長沼町、そして岩手  
県競馬組合の三者で実行委員会を組織し、実現  
したもので、もちろん、この地方には初めての  
お目見えであります。

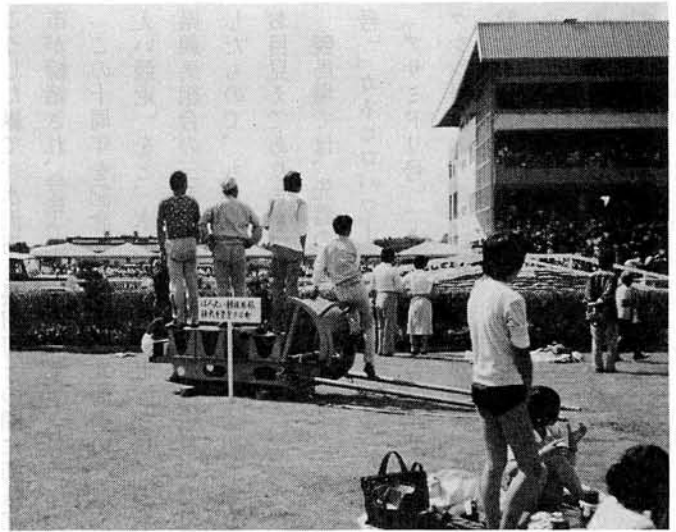
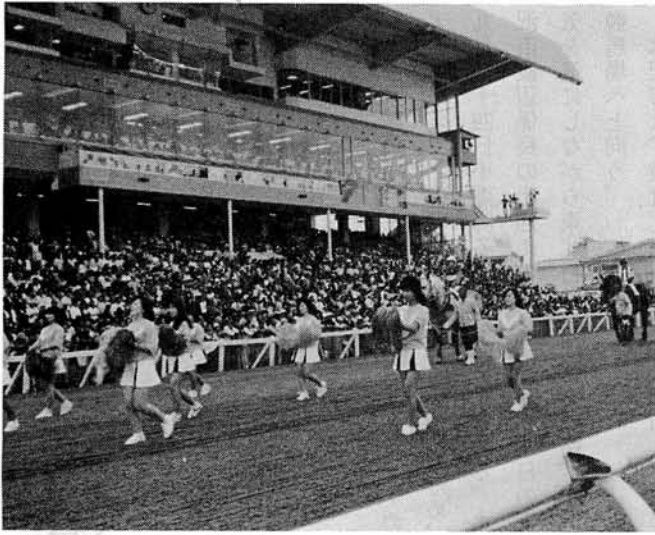
競馬場では、先着の出走場、「ハッキントップ  
号」「カネヒロパワー号」「サカエトーコー号」  
「アサミドリ号」「トカチハヤテ号」「サロマホ  
クシン号」の六頭の前年の名馬が厩舎で長い旅  
路にもかかわらず、元気に出番を待つ、かたわ  
らでは、白瀬さん、岩本さん等六人の馬主さん  
の手入れも、一段と入念に行なわれ、騎手との  
対面を今か今かと待ちわびている。





場内には、スタンド正面に練習馬場内の特設コースが、直線二百米、土のうを積んで作られた、高さ一、八メートルと一、三メートルの障害が出来上り、準備は完了している。

騎手の到着を待って、北海道ばんえい競馬馬主会広川支部長と共に、洩向局長を始め、競走関係者、水沢市関係者に到着の挨拶を行い、小雨降る空を見ながら明日の打合せを行い、レース終了後、特設走路の試走を行うも、競馬場で、あすの天候によっては、重量調整を考えながら



試走を終了する。

水沢市でも、むかしは、農耕馬が多く飼育されていたこともあり、私達を大歓迎して、「ばんえい競馬開催レセプション」を吉祥閣で開催して、高橋市長を始め、木村市議会議長、菊地商工会頭、伊藤観光協会長の他、農協組合長、馬物組合等多くの名士出席の中で広川支部長、馬主・騎手に感謝状が贈られ、長沼町から出席の村川収入役による祝辞に続いて、ばんえい豆本による解説で理解を深めた後祝杯をかたむけて、

ひとときを有意義に過ごすことができました。九月二十五日、目をさますと、窓ごしに、強い日ざしが「本日は晴天なり」とつけていました。

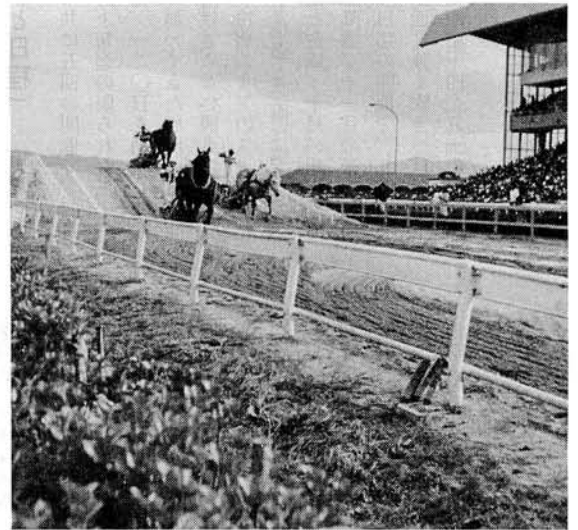
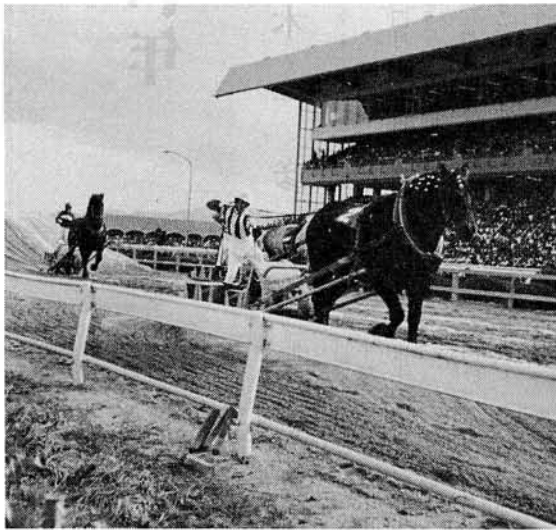
第九回水沢競馬第六日目、メインレースの東北ダービーの、アトラクションとして披露される「ばんえい競馬」の珍らしきもあって、競馬ファンに混って、親子連れなど一般市民もつめかけ一万人を超える入場者となった。ハレース終了後の午後二時四十分、八人のチアガールに先導された、ペルシユロンとブルトンの重ばん馬、馬体重は一トンもあり、普通の競走馬に比べ倍以上もある巨馬が入場すると、やんややんやの大歓声を上げていた。チアガールに誘導された四人の騎手は中央に設けられた表彰台で、岩手県出身の西康幸君を先頭にして、鈴木正貞、坂本東一、三浦弘文の騎手を順に紹介され、場内コンパニオンから花束が贈られ、各騎手も花束を高く上げ両手を振って、ファンにこたえていた頃には、場内も最高のクライマックスに達した。

場内放送では、「ばんえい競馬」は、馬力大会として東北の馬産地や北海道の開拓地で祭礼やお盆休みの庶民の楽しみから発展したもので、競技内容は、重い櫓を重種と呼ばれる体重一ト

ン以上の農耕馬が二個の障害のある直線コースをばんえいし、橈の後端がゴールを通過した時点で着順が決定されるもので、北海道では圧倒的な人気を持つ競馬でありますと紹介されていた。

レースは、三頭立て二レースが行われ、レースは、積載重量六五〇キロをひく一般レースで、鈴木騎手、坂本騎手、西騎手で競われ、引き続きばんえい競馬重賞競走用の積載重量一トンをひく力のレースを、坂本騎手、三浦騎手、鈴木騎手によって競った。

前日の雨で馬場状態は悪かったが、各馬は、やや軽で、パワーのほかにスピードも必要なコンディション、レースは各馬が並ぶように進み、予想以上のスピード競馬になり、三頭はほとんど差がなく第二障害にかかる騎手たちは必死に登坂のためムチを振って、馬は力強く次々に障害を乗り越えて、泥水と砂をけり上げながらゴールへ直進する一味違った競馬のだいご味に歓声を上げ、本場のばんえい競馬の興奮を肌で感じ、迫力満点の競馬に思わず声を上げる光景も見られるうちに、アトラクション水沢ばんえい競馬は終了する。レースが終って引き上げて来る騎手、競走馬にファンの目はいつ迄も追っている光景に「ばんえい競馬」の神髄をあらため



て感じ帰路についたのであります。  
最後に、このアトラクション水沢ばんえい競馬を企画して頂きました岩手県競馬組合、水沢市、長沼町の関係各位のご努力に対し、心から感謝申し上げます。

# 連続三年ダウンの

# 厳しい年

北海道市営競馬協議会

事務局長 鈴木 一彦

昭和五十六、七年と二年間売上低迷に苦しんだばんえい競馬は、今年も売上ダウンの厳しい年となった。

全国的な経済不況、レジャーの多様化に、追討ちをかける様な全道的な冷害で、稲作、畑作共に収穫皆無に近い地域が発生する等、一時産業に左右される本道経済の弱体を競馬は諸に被り、特に農業関係者にファンが多いばんえい競馬は、売得金前年対比九四・四％に低下し、三年連続ダウンの不振な成績で終了した。

## 五十八年度を

## 顧みて

昭和五十八年度は、市営競馬施行三〇周年と併せて本会設立十五周年に当り、ばんえいの歴史の中で一つの節目になる記念すべき年として、これを契機に暗雲低迷する不況を一気に吹飛ばすべき期待

本年の総売得金額は

二五億六、九〇二万円で、前年対比

一四億〇、〇九三万円減（九四・四％）

に低下し、四市懸命の努力の効も無く、三年連続減少の憂慮すべき事態となった。

各競馬場別の売得金額は、

旭川 六〇億七、一四五万円

帯広 六一億〇、二七〇万円

北見 五二億一、八三七万円

岩見沢 六一億七、六四八万円

で、予算をそれぞれ大中に下回り、

一日平均売得金の前年対比は、

58年度 55年度対比

旭川 八六・三％（六七・九％）

帯広 一〇〇・六％（七七・五％）

北見 九二・二％（七七・八％）

岩見沢 九九・六％（七六・五％）

平均 九四・四％（七四・五％）

で、昨年（九〇・六％）より若干落込を防ぐことができたが、昭和五十五年度の

ピーク時に比較すれば、％の七四・五％

迄落ち込む凋落振りであった。

帯広と岩見沢は、約一〇〇％確保の好

成績に見えるが、帯広は北見場外で助け

られ、岩見沢はお盆開催の好日程で落込

が少なかった様である。

本場だけの売得金前年対比は、

旭川 八六・三％

帯広 八六・三％

北見 八六・〇％

岩見沢 九九・六％

平均 九三・二％

で、帯広と北見も旭川同様八六％台の伸

び率に留まり、場外発売で何とか息がつけたと言う成績であった。

全国の三十一競馬場も同様に低調であ

り、一月〜十二月迄の全国一日平均売得

金上昇率は、九一・九％でピークの昭和

五十五年対比は、八〇・五％まで低下し

ている現況である。

一〇〇％確保は四場に留まり、第一位

の一〇・三％の園田に次いで帯広が一〇

〇・六％で第二位、一〇〇％の中京、姫

路に続いて岩見沢が九九・六％で第五位

にランクされ、ベスト5に二場が入れた

ことがせめてもの慰めであった。

一人平均購買額（除場外関係）につい

ては横ばいで、五〇、八七七円（前年対

比九九・九％）で二年連続五万円台の大

台を突破した。

各場別一人平均購買額は、

旭川 四九、一〇〇円

帯広 四九、一二九円

北見 五二、五五九円

岩見沢 五三、一三六円

平均 五〇、八七七円

一日平均売得金の道営対比は、昭和四

十九年に帯広が一・三％、翌五十年には

旭川も一・一〇％で二場が道営を過ごし、

残る岩見沢だけが道営を下廻っていない

たが、本年度の岩見沢は好調で、ついに

追いつくことができた。

道営競馬一日平均売得金を一〇〇とし

て三場を対比すれば、

旭川 一八五・四％  
帯広 一六三・三％

### （売得金額）

昨年同様各市共に五回の開催で、四月下旬から十一月下旬迄の限られた三十一週間で、二〇回、一二〇日を消化しましたが、四年目で廻ってきた旭川の四月開催は、残雪の溶けきらない競馬場で、気温の上昇しない冷害ムードのスタートになり、五〜七月も低温と降雨に悩まされ、九月の異常高温と台風、十月の旭川地方の数十年振りの降雪、十一月の帯広は前例のない二十八日迄の開催で、北西の寒風がスタンド正面に強く吹きつけ、零下五〜六度、馬場凍結十四五cmの悪条件下での開催となった。

岩見沢 一〇五・六％  
 で、市営競馬施行三十周年にして、念願の三場共に道営競馬を凌駕する記念すべき年となった。

(入場人員)

昭和五十五年度の五三万五千名をピークとして、売上同様に低下の一途を辿り本場総入場人員 四三一、五九〇名  
 一日平均前年対比 八九・六％  
 で、三年連続九〇％を割る不振で終了した。

各場の本場入場人員及び一日平均前年対比は、

旭川 一二三、六五六名 八六・二％  
 帯広 一〇六、四三一名 八四・二％  
 北見 八五、二六四名 八四・七％  
 岩見沢 一一六、二九九名一〇四・五％  
 で、お盆開催の岩見沢は、全国唯一の一〇〇％台確保で第一位の伸率を示したことは、特筆すべきことであった。

男女別の本場入場人員は、  
 男性 三六三、九三九名 八四・三％  
 女性 六七、六五一名 一五・七％  
 で、男女の比率は、前年対比女性が〇・一％の微増で、横ばい状態であった。

しかし、岩見沢だけは女性入場者は前年対比一、〇九四名増で、七月二十四日に開催した、婦人競馬教室の入場者五五〇名を含めれば、一、六四四名増の一八、二六七名となり、前年対比上昇率は、男性を二・五％上廻る一〇六・六％の大巾増であり、女性入場者増に伴う「ファミ

リーばんえい」化が、売上低下防止に何等かの関係があるのではなからうか。

(場外馬券発売)

相互場外馬券発売のテストケースとして、昭和五十七年秋に北見の場外を帯広において発売、二開催で四億四、四九七万円を発売する好成績で終了したが、本年度は北見と帯広で相互に全開催(北見は三日減)の場外発売を実施し、四競馬場相互発売に向けて一歩前進することができた。

北見本場帯広場外成績

五回 二十七日  
 売得金 七億三、七〇二万円  
 一日平均 二、七三〇万円  
 場外比率 一五・二％  
 一人当購買額 二六、三〇七円  
 同右本場対比 五〇・一％  
 入場人員 二八、〇一六名  
 男性 二四、七九九名 (88・5%)  
 女性 三、二一七名 (11・5%)

帯広本場北見場外成績

五回 三〇日  
 売得金 八億七、三九〇万円  
 一日平均 二、九一三万円  
 場外比率 一四・三％  
 一人当購買額 三九、三〇四円  
 同右本場対比 八〇・〇％  
 入場人員 二二、二三四名

男性 一九、七一五名 (88・7%)  
 女性 二、五一九名 (11・3%)

一日平均 七四一名

第一、二回の帯広競馬の北見場外発売は、北見競馬終了直後の初の北見場外発売と言うこともあり、事前のPRも十分に行なわれ人気は上々、二開催で五開催分の約1/2の四億二、一一七万円、場外比率一六％の好成績であり、第二回の競馬では一人当平均購買額が帯広本場を上廻る四八、五三七円の常識を破る成績となり、今後の場外発売日程編成上の指針となる重要なデータとなった。

(競馬番組)

二年連続の売上低下で苦しい財政の中ではあるが、報價費のダウンは諸情勢から実施することができず、前年同額の二十三億円を計上した。

出走頭数は年々増加の傾向にあり

出走延頭数 一一、〇六九頭  
 競走回数 一、二七一レース  
 一競走平均 九・五頭

で、それぞれ記録を更新し、多頭数による充実した番組編成ができた。

特に、本年度から実施した三歳雌馬の優遇策(20kg減、雌馬競走の賞金1/2加算)が効を奏し、前年比二十七頭増の五十頭の出走馬を確保することができ、雌馬だけの重賞、特別、平場共に例年にない充実した競馬を実施することができた。

賞金、諸手当共に前年並と言う予算の中で、苦しい番組編成となったが、看板レースである重賞競走は、一着賞金

七〇〇万円 農水大臣賞(50万円増)  
 六五〇万円 岩見沢記念、旭王冠賞  
 六〇〇万円 帯広記念

の四大重賞競走を始め

五〇〇万円 旭シルバークップ  
 四〇〇万円 旭川記念  
 と続き、三五〇万円三レース、三〇〇万円六レース、二五〇万円六レース、二〇〇万円八レース、計二十九レースの重賞競走を実施したが、その他、市営競馬施行三〇周年記念競走を各場毎に一レースの実施、また、馬体重量一トン以上の馬のみで編成したビッククウェイトカップ、芦毛馬だけの、ホワイトホースカップ、白馬賞等の新企画による特別競走、及び三歳雌馬だけの小桜特別等を新設する等ファンに充実した競馬を提供する様に努力してきた。

(出走馬)

出走申込頭数 一、三五六頭  
 出走実頭数 六九四頭

新馬登録頭数 七四五頭  
 で、前年対比、申込数一〇・二％増、実頭数〇・七％減、新馬登録一一・七％増であった。

年令別出走実頭数は、

三才 二一〇頭 四才 一二八頭  
 五才 一一三頭 六才以上二四三頭  
 で、バランスの良い年令構成であった。



一年間受賞額の最高は、十五戦三勝、旭王冠賞、農水大臣賞の二大ビックレースを制覇した、七才馬

キントロー号 二、一二二万円  
が古馬No.1に輝き、通算五、八一〇万円  
で一〇才の引退までに、ばんえい競走馬  
初の一億円馬誕生に明るい兆が見えてき  
た。

No.2は、十四戦三勝、岩見沢記念、オ  
ナシス記念に優勝した、キタノフジ号、  
一、六一八万円、No.3は、昨年の五才No.1  
のヤマトウンリュウ号、一、四六四万円  
と続いた。

農水大臣賞競走を三回制覇した名牝キ  
ヨヒメ号は、八一五万円で第七位に留ま  
り、通算八、七九九万円で一億円馬の夢  
は消え、本年で引退し繁殖生活に入るこ  
とになった。

五才馬は、十四戦五勝、旭川記念、金  
杯、全協賞に優勝の  
トヨタカ号 九八七万円

が昨年四才馬の覇者タカラシヨウリ号を  
押えてNo.1となり、  
四才馬は、昨年一百万円の差でハヤカゼ  
号の二位に泣いた。  
タカラタイトル号 八五五万円

が、ダービーとばんえい大賞典を制覇し  
てNo.1の地位を確保し、  
三才馬は、十四戦五勝、ナナカマド賞  
優勝の  
ヒカルタイシヨウ号 七四七万円  
がチャンピオンとなった。  
三才雌馬の優遇策が本年から実施され、

大幅増の五〇頭を確保することができ、  
三才ベストテン中雌馬が四頭入る活躍振  
りであった。

五位 ヤマキクハナ号 六四一万円  
八位 セイフウ号 五七七万円  
九位 タニノヒメリユウ号五五三万円  
十位 ホウエイ号 五一〇万円  
で、ウーマンパワーの年であったが、こ  
れ等から第二のキヨヒメ号、ダイニミハ  
ル号等のばんえい史上に残る名牝が誕生  
することを願うものである。

馬格は、大型化の傾向が強いが、最近  
においては大幅な変化が見られず、横ば  
い状態が過去四年間続いている。  
本年秋の馬体重一頭平均は、  
三才 八六八kg(二kg減)  
四才以上 九三六kg(二kg増)  
全馬平均 九一六kg(一kg増)

で、ばんえい競走馬の馬格も、現生産体  
制からみれば、こゝろで安定するのでは  
なからうか。  
一トン以上の馬は五四頭で、最高は三  
才で九九六kg、四才以上は一、一一四kg  
であった。

### (騎手成績)

調教騎手 五〇名(新規三名)  
騎乗騎手 三四名(新規二名)  
調教騎手の成績は、  
取得賞金 谷内二三松六、四七七万円  
勝 率 中条照男 一五・五%  
勝利度数 谷内二三松 四三勝  
中西関松 四三勝

がそれぞれ第一位となった。  
騎乗騎手の成績は

取得賞金 工藤正男一億〇、八五二円  
勝 率 工藤正男 一七・二%  
勝利度数 工藤正男 一一九勝

で、工藤騎手の総砵となったが、金山騎  
手とのデットヒートは近來になく激しく、  
勝利度数においては最終日までつれこ  
み、一勝の差で工藤騎手は栄冠に輝き、  
金山騎手はオールNo.2に甘んじた。

山田勇作騎手は、第二回帯広第四日第  
一〇競走帯広大賞典において、ハヤホマ  
レ号で念頭の一、〇〇〇勝を達成、昨年  
の金山騎手に続き、ばんえい史上二人目  
の大記録を樹立した。

新人騎手の藤本匠は、年間五三勝をマ  
ーク、五十五年の新人西弘美騎手の年間  
三八勝の記録を大幅に更新し、ベテラン  
顔負けの騎乗振りであったが、正念場を  
迎える二年目こそ彼の真価を問われる年  
となるので、一層の精進を願いたい。

また、松尾一司騎手も二五勝で減量の  
△印がとれ、明年の活躍を期待したい。

### (馬産対策)

道内の農用馬飼養頭数は、昭和五十五  
年を最低とし、その後二年連続上昇カー  
ブを示してきたが、本年度は再び低下し  
前年対比一、四〇五頭減の一三、八一五  
頭に減少した。

その原因はさだかではないが、オイル  
ショック以降の長期にわたる経済不況に  
伴う、競走馬価格及び馬肉価格の下落が、

生産意欲の低下に結びついたのではない  
かと推察できる。

農用馬二才せり市場価格においても、  
ピークの五十五年一頭平均一一二万円に  
比較すれば、本年度は五四万円と半額以  
下に暴落し、五十六年から始まった値崩  
れの雪崩現象が、生産者に与える影響は  
甚大なものがあり、この憂慮すべき事態  
を切抜ける為には、一日も早い経済回復  
を待つしかないのではなからうか。

この様に各地区で減少している中で、  
釧路地区だけは前年対比三三八頭増の  
二、三三八頭と過去十年間の最高を示し、  
最近の釧路産駒の競馬成績も優秀馬が統  
出する等、その生産意欲と生産技術の進  
歩は他地区を凌駕するものがあり、十勝  
地区に次ぐ第二の馬産地に成長したこと  
は頼しいかぎりである。

「北海道鞍用馬振興対策協議会」が、  
本会の事業補助金二〇〇万円の援助を受  
けて、「第二回北海道優良種雄馬展示会」  
を九月二十日訓子府町において開催した  
が、全道各地から七十一頭の種雄馬が参集  
し、功勞種雄馬として二世ロッシー二号  
以下十一頭の表彰、出陳馬の講評並びに  
本年度ばんえい競走引退馬一〇頭の参  
考展示等が行なわれ、生産関係者約五〇  
〇名の参加があり、第一回以上に盛況な  
意義ある展示会が行なわれた。  
競走経歴のある種雄馬の産駒は、その  
競走成績が優秀なことはすでに立証され  
ていますが、今年度の三才馬能力検査合  
格馬二一〇頭中七八頭が合格する成績で

あった。

本年度も日本馬事協会は、オーブン馬アイスリヤル号以下九頭の現役馬を、一頭平均五〇〇万円で種雄馬として購買し、道内農業団体に八頭、青森県三本木畜協に一頭を貸与した。(購買馬名簿は別途掲載)

## (ファンサービスとPR)

入場者減少に歯止めをかけるべく、本年度は各競馬場でそれぞれ創意工夫をこらし、ファンサービスに努力をした。

詳細については「広報活動実施状況」として別途掲載してありますが、主なものとしては、各場共に「ファン感謝デー」を設置し、それぞれ趣向をこらしたノベルティの贈呈を始め、旭川では「お楽しみ抽せん会」でサンバイザー、Tシャツ、デレクターチェアー、ランランバック等、帯広でも「スピードくじ」で五日間にわたり日交りで、エプロン、靴下セット、好評であった秋アジー〇〇本、姉妹都市である大分市名産の民芸品等、北見では「お楽しみ抽せん会」でラジカセ一〇台、自転車一〇台、日を改めてカラーテレビ一〇台と木彫キーホルダー等、岩見沢では、タバコ、ウチワ、絵葉書等と、入気投票レースの投票者に抽せんでTシャツ、エプロン、トレーナー等々、数多くのプレゼントを揃えてファンサービスを実施し、好評を得た。

新企画としては、岩見沢と北見においてアトラクションとして「人間ばんば競

走」を開催、市内の職場単位チームの協力を得て、一チーム七名編成(練習用鉄そりに一名が乗り六名で曳く)の八頭立で実施したが、岩見沢は申込チーム多数で予選二レース後に決勝を行うほどの入気があり、数百名を超す各チームの応援団は、幟を立てての来場で、その熱狂振りには驚いてしまった。

この企画は大成功であったので、将来に向っては各市で予選をして、四市上位一、二着チームで八頭立の「全道人間ばんば大会」まで発展させたいものだ。

もう一つの新企画としては、北見における「ばんえい競走馬市内パレード」であった。北見市消防音楽隊を先導に、一トン以上のオープン馬一五頭によるパレードは圧巻であり、市民は間近で初めて見るその重量感に圧倒され、新聞紙上でも大きく取上げられる等、PR効果は十二分であった。

岩見沢で毎年夏に開催している競馬場主催の花火大会は、一万数千人の入場者で賑わう岩見沢市民の楽しみの一つであるが、この機会を利用してアトラクションとして全国初のばんえい競馬薄暮レースを開催し、実戦さながらの迫力あるレースを展開して好評を得、ばんえい競走を初めて見る観客が大部分だったので、抜群のPR効果をあげることができた。

婦人競馬教室は岩見沢で第二回目を迎えたが、今年は五五〇名の入場者があり、特に昨年比して札幌市内の受講者が増加したことは見逃せないデータであり、

今後、百五十万都市札幌での女性ファン開拓に、より一層の努力をそそがなければならぬことを痛感した。

## 昭和五十九年度に向って

昭和五十九年に入り、日本の経済も若干ながら好転の兆が見え出し、今年こそ長かった不況の暗いトンネルを通過、明るい年になることを期待しながら、競馬運営面において創意工夫をこらして改善に努力し、市営競馬施行三〇周年で初めて迎えた最悪の事態を克服して、三十一日目となった昭和五十九年度を、新しいスタートと心に誓い、一気に沈滞ムードを吹飛ばす躍進の年にしたいものである。

二年間のテストケースで実施した、北見と帯広の場外馬券発売は、ファンの好評を得て好成绩であった実績をふまえ、昭和五十九年度からは、四競馬場における相互場外馬券発売に踏切ることになった。

四競馬場の中で、一場は道営競馬が開催される関係上、本場一対場外二の計画で進めているが、道営競馬が札幌又は函館で開催中は、一対三も可能であり、前途は洋々たるものがあります。

全国初のケースとして、釧路町に設置される中央競馬会の場外馬券発売所を、地方競馬が貸りて、八月から約五〇日間場外発売を実施することになったが、土、日曜以外のウィークデーしか発売できないこと、また、一階と二階に別れて道営競馬とばんえい競馬が、同一開催日に競

合して発売すること等問題点があります。全国的注目の的でもあり、期待に添える成績を残したいものである。

前売発売については、岩見沢でシングルユニット券機二〇台を新設する予定があり、七月以降は前売を実施し、また旭川も今年から前売に踏切るので、ばんえい競馬四場がすべて前売発売を実施できることになった。

競馬法施行令等の一部改正に伴い、薄暮競馬の開催が可能となったので、北見競馬の六月二十三日、二十五日の三日間、帯広競馬の七月二十一日、二十四日の四日間、第一競走の発走を十三時三十分、最終競走を十八時三十分の予定で、テストケースとして実施しファンサービスを図ることになった。

昭和五十九年度の開催日程は、例年より一週間早い四月二十二日岩見沢競馬で開幕、二十一日、二十六日を開催し、国際科学技術博覧会協賛競馬を北見において一回開催する関係上、過去に経験したことのない初冬の競馬となり、十二月十一日で終了する予定であります。この不況を乗り切るためには、ファンの信頼を裏切ることのない公正競馬開催を第一とし、経営の合理化、場外施設の拡張、ファンサービス、新規ファンの開拓等を重点に、「ファミリーばんえい」化をスローガンとして鋭意努力する決意でございますので、何卒よろしくご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# ばんえい競走

## 執務二十年を省りみて

北海道市営競馬協議会

専門職 中村克一

昭和三十九年五月北海道々々競馬協  
会競馬開催時の臨時職員として採用され  
旭川、帯広、北見、岩見沢各市開催のば  
んえい競走の業務に就いた。当時北海道  
畜産課より専山本盛雄氏競馬協力会より  
高瀬、小路口、串岡、(意)穴吹の各氏と私  
の六名が常時派遣され、道営競馬休催中  
には時々荒谷、日向、角田の諸氏が勝馬  
投票関係の応援に來られていた。

私達の開催中の執務内容は「総務」(意  
穴吹さん(物品保管、輸送、夜警)、「走  
路審判」山本さん、小路口さん、(意)私、  
「番組」小路口さん、串岡さん、(意)私、  
串岡さん(兼)、「投票」高瀬さん、穴吹さん  
(兼)で他の部署は各市職員協力会員、共済  
組合職員等で従事し、又休催中は走路整  
備、場内整理(厩舎関係)等の一部も私  
達の担当であり、競馬業務に未経験の私

には驚く事ばかりで戸惑うことがしば  
しばであった。初めての馬体検査の時であ  
る。八時から検査をはじめ二百六十頭余  
の検査が終了し資格審査に入ったのは一  
時過ぎである。審査委員長は市競馬担当  
者責任者。委員は、市競馬担当職員二名、  
走路審判二名、番組二名、協力会員十名、  
共済会職員二名で構成され、体高、胸囲、  
管囲、過去の市営競馬の成績、地元ばん  
えい競走の成績等を総合して審査し、甲、  
乙、丙、丁の四階級に格付された。旅馬  
(四競馬場に出走する馬)を除き馬集め  
は主として地元協力会員が行っていたた  
め各々出場を勧誘した馬の格付を少しで  
も有利にしようとお互に譲らず数時間も  
論議し、終了したのは六時を過ぎるほど  
だった。格付発表には番組二名と私が立  
会し、市担当職員と番組係女子従事員四

名は宿舎で待機していた。(格付発表後は  
厩舎関係者の攻勢激しく競馬場内の仕  
事不可能の為)厩舎関係者は自馬の格付  
を見、各自の思惑と相違すると番組係に  
怒鳴りつき、喧々ごうごうとして今にも  
取組み合いになるのではないかと思う程  
で、驚きよりもおそろしさが先だった。  
然し不平を怒鳴り散らして一段落すると、  
今までは打って交り冗談を言いながら  
和気あいあいとし、出走投票を済まして  
歌を歌いながら厩舎に帰って行く。職業  
柄言葉も荒く、雑だが、全く気持ちの良  
い清々しい真正直な人達だとつくづく思  
った。急ぎよ宿舎に帰り出馬表の原稿作  
成にかかり十時頃終了し、印刷業者に渡  
した後夕食が始まる。すきつ腹に呑む一  
杯がなんとも云われぬ味がする。一回催  
は四日間、二競走の出走頭数は最高十六頭  
立て、十二競走行われ、特定馬は三日間、  
全馬四日間出走する為、番組は十二競走  
終了後でなければ作成することが出来ず、  
仕事の終るのはほとんど十時を過ぎてい  
た。走路は現在の砂と違って火山灰と石  
炭殻を敷いていたため、乾燥度が高まる  
につれ極度に粉塵が増大し、前方の見透  
が出来ず監視が困難となり、又着順判定  
にも粉塵の為馬そりの後端と決勝の白線  
が見えずゴール前の馬の速度により判定  
した事もあると聞いて薄水を踏む思いで  
あった。数回にわたる事故騒擾等も大事  
に至らず決着し、十月中旬、昭和三十  
九年度のばんえい競走も無我夢中のうちに  
終了した。昭和四十年度も昨年同様の執

務ではあるが、厩舎関係者の氏名、顔、  
職業氣質等も多少知り、各競馬場におけ  
るファン心理、各主催市の機構等が解  
かるにつれ多少不安が薄らいだが、反面  
競走内容を少しづつ修得することにより、  
不安の高まる思いが一層増大してきた。  
ある競馬の大先輩が競馬に卒業生なしと  
云われたと聞き、名言であると思つづく  
思った。  
昭和四十三年四月、一部事務組合の結  
成を前提として北海道市営競馬協議会  
(市協)が設立され、事務局は札幌駅前  
労働会館五階に置かれ内田事務局長外職  
員四名、臨時職員四名、内女子職員一名  
で発足した。庶務、業務の二課に分かれ、  
私は庶務課主事として採用された。平常  
業務は庶務課、競馬開催時には業務課に  
属し、走路に出ることになつては、  
執務体制の変更により内田事務局長の  
並々ならぬ御苦労と地方競馬全国協会  
(地全協)の御好意により開催直前、急  
き大井と埼玉浦和両競馬場にて三週間  
の勝馬投票業務の研修を受け勝馬投票委  
員として開催業務に就いた。北海道、地  
全協、各市協力会等の御指導と御支援、  
又各主催者の御努力により競馬施設の増  
改築、競走用具の改善、職員増等による  
執務体制の強化、賞金諸手当の増額、職  
能分離等により厩舎経済も安定し、公正  
明朗な競馬の実施により大衆娯楽と親し  
まれ入場人員、売得金額も順調な伸びを  
見せ上昇の一途を辿りマスコミの注目す  
るところとなつた。執務体制の強化によ

り業務課に移り、走路審判、発走、場内整理委員と十数年間勤務したが、数多くの部署の業務を巾広く修得することができました。経済環境の悪化、娯楽の多様化等の起因により、昭和五十五年を契機として競馬成績も下降しつつあり、景気回復も当分見込薄の状況下一層職務に専念して一日も早く成績の向上を念願して止みません。樺太に生れ育ち、第二の故郷岩見沢市に復員し、札幌市に移住した私には市協に勤務し競馬の世界により知り得た空知、上川、十勝、網走地方の風光明媚な野山、人々の気風、長い出張中の出来事等生忘れれることの出来ない思い出となることでしょう。停年の年を迎え、今日まで大過なく勤務することが出来ましたのも諸先輩始め各市、市協、厩舎関係の皆様御支援の賜と深く感謝し、篤く御礼申し上げます。皆々様の御多幸とばんえい競馬の益々の発展をお祈りいたします。



## 農用種雄馬（ばんえい馬）の購買と配置

地方競馬全国協会の補助に係るばんえい競走馬からの種雄馬購買は11月29日帯広競馬場で実施した。当初ばんえい競走馬から種雄馬として売却を希望するものが21頭あり、予備選抜及び精液検査により購買対象馬を13頭にしぼった。

購売当日、対象馬13頭のうち2頭は他へ売却済で出場せず、11頭のなかから配置先関係者と共に入念な検査を行い購買馬を選定した。購買馬ならびに配置先は次のとおりである。

昭和58年度 農用種雄馬（ばんえい馬）購買名簿

配置番号 登録番号	馬名 (旧馬名)	品種 毛色	生年 産地	父 母 血統	体重 cm 胸囲 cm 管囲 cm kg	購買価格 配置先
会58-7 S-527	アイスリヤル (興玉)	半血(鞍) 鹿毛	昭49 北海道釧路 標茶町	中半 富士 重半 興春	165 233 29.0 987	550万円 十勝農協連
会58-8 S-528	カイザンオ (豊鯉)	半血(鞍) 鹿毛	昭49 北海道十勝 幕別町	ブル 鉄鯉 ペル ロッシー姫	166.5 223 29.5 918	550万円 十勝農協連
会58-9 S-529	ユウホウ (勇湖)	半血(鞍) 青毛	昭49 北海道北見 東藻琴村	ペル 2世ロッシーニ 中半 姫桜	165 234 27.0 1001	550万円 十勝農協連
会58-10 S-530	トキノハヤブサ (ハヤブサ)	半血(鞍) 芦毛	昭51 北海道北見 美幌町	ペル ベルヴォンシエー ブル系 第2大和	172 239 27.5 996	500万円 ホクレン留萌支所
会58-11 S-531	タカラオートリ (第一オートリ)	半血(鞍) 青毛	昭49 北海道釧路 浜中町	ペル 第17オートリ 重半 初姫	170 244 27.5 990	450万円 ホクレン札幌支所
会58-12 S-532	キョクイチ (弾雄)	ペル系 青毛	昭49 北海道十勝 本別町	ペル グンディ 重半 晏梅	171 240 29.5 1033	550万円 ホクレン苫小牧支所
会58-13 S-533	ユウコーマル (秀鯉)	半血(鞍) 鹿毛	昭49 北海道十勝 浦幌町	ブル 鉄鯉 重半 秀姫	160 233 28.5 1010	550万円 ホクレン苫小牧支所
会58-14 S-534	トキノリュウセイ (栄山)	半血(鞍) 青毛	昭49 北海道北見 紋別市	ペル 楓朝 中半 栄姫	165 234.5 28.5 1005	300万円 青森県三本木畜協



# 農林水産大臣賞典

冠雪の旭岳、そして十勝岳と、大雪山系の連なりと、麗の穀倉地帯を取り囲むそちこちの紅葉が、日を追って深まりゆく北国の晩秋の景である。

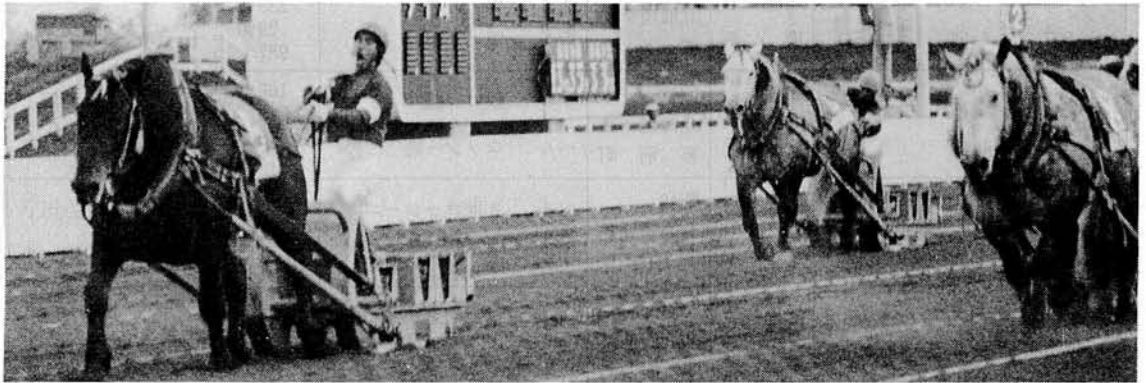
ときどき白いものがちらつく。掌に触れて雪とわかる冷たさだ。移ろいやすい日和続きに、農林水産大臣賞典競走のビッグイベントがある今日だけは晴の日を期待していたが、第一レースのパドックを取り囲む人びとの吐く息が白く、曇り空の寒い一日になった。それでも久しぶりにファンの出足は良い。

出走馬の大きな蹄跡が深くパドックの砂にめりこみ、いよいよばんえい競馬の開始である。

すでにスタンドには紫煙がたちこめ、ざわめきの中にもビートの効いたBGMが鉄筋の屋根を打って、草の錦をなす馬場へとはね返ってゆく。第一レースの馬場水分三・八%、やや軽目か。重量と騎手の技と脚質の三体の絡みがファンの心理をくすぐる材料となり、馬券の購入意欲に微妙に影響し、もつとも気になるのが馬場水分ではある。

さて、栄光の農林水産大臣賞典競走に、駒を進めてきた歴戦の九頭の駿馬にスポットをあててみよう。

過去、この農林水産大臣賞典を2連勝、通算3勝して4勝目をめざす女傑キヨヒメは、今日も本命、対抗、注意の予想ひっつけての登場である。固定ファンも多く、今年度限りで勇退。花道を飾りたいところである。



競走番号 旭 313 ⑤ 第10競走 農林水産大臣賞典 距離200米 天候 曇 馬場水分 3.3%  
4才以上 オープン (指定馬)

着連馬順番	馬名	重量	騎手	馬主	タイム	調教師	単勝	複勝	賞金
1 1 1	キヤマト	1000	尾瀬	雄司	3:40.2	谷内	755	992	7,000,000
2 6 6	ンタウ	1000	木村	卓	3:58.6	前原	271	640	2,800,000
3 8 8	キハキ	1000	金山	明彦	4:05.7	本松	408	345	1,750,000
4 8 9	タイ	1000	金山	弘美	4:14.8	沢井	474	325	1,050,000
5 7 7	ハキ	1000	山田	勇作	4:14.9	林	168	109	700,000
6 4 4	ハキ	990	山田	真野	4:30.9	林	391	628	
6 4 4	キ	1000	喜上	光	4:48.7	林	130	125	
7 5 5	グダ	1000	久田	守	5:30.0	片平	250	311	
8 2 2	マ								
失3 3	キヨウ	1000	工藤	正男	6:16.2	坂本	158	323	

一方、十月九日に第14回旭王冠賞を制して意気上がる七歳馬のキンタローは一番人気。ソリ上はこれも重賞好調の尾ヶ瀬騎手とあつては見過ごすわけにはゆかない。対するはその名も横綱キタノフジ、今年に入つてオナシス記念、岩見沢記念に勝ち、先日旭王冠賞は五着と涙をのみ、捲土重来を期しての挑戦である。続くはヤマトウンリユウ。北見記念を制し、先の旭王冠賞も二着と上昇気運に乗り、栄光の座を狙う気合十分。さらに戦艦ヤマトは六歳の若駒ながらこのころ重賞オープン戦で上位に入賞しているだけに注意馬に推された。ハヤホマレ、キョウエイもきらめける過去の戦績をひっさげて登場。ハイスピード、ダイケツはともに今年勝負運に恵まれないものの、前者は旭シルバークップをものし、後者は五十五年の農林水産大臣賞典馬で、力では他の七頭に優るとも劣らない。以上の九頭とも、花の舞台の名優にして名跡を刻むつわものどもである。一方、これも見守るファンは当然のごとく各馬の気合いに目を注ぎ、声援を送りつつ、今や遅しと賞典レースを待ち受ける一刻、一刻である。

たそがれの旭岳を覆うように雪雲がスタンド前方にたなびき、寒さが刻々と加わってくる。

出陣ドラマが始まった。

轟音とともに、早くも先陣争い。馬の白い息が馬場に突きささる。昨年は5分59秒の長いドラマであつたが、今回は

かに……。

しかし、軽い馬場にキンタローが断然の強さだ。尾ヶ瀬騎手の手綱が弧を描いて胴を打つごとに、黒い巨体は一トンの重量をものともせず前進を続ける。これでもか、これでもかという強さを見せつけて緩まない。まったくあつけないほどの勝負の早さだつた。

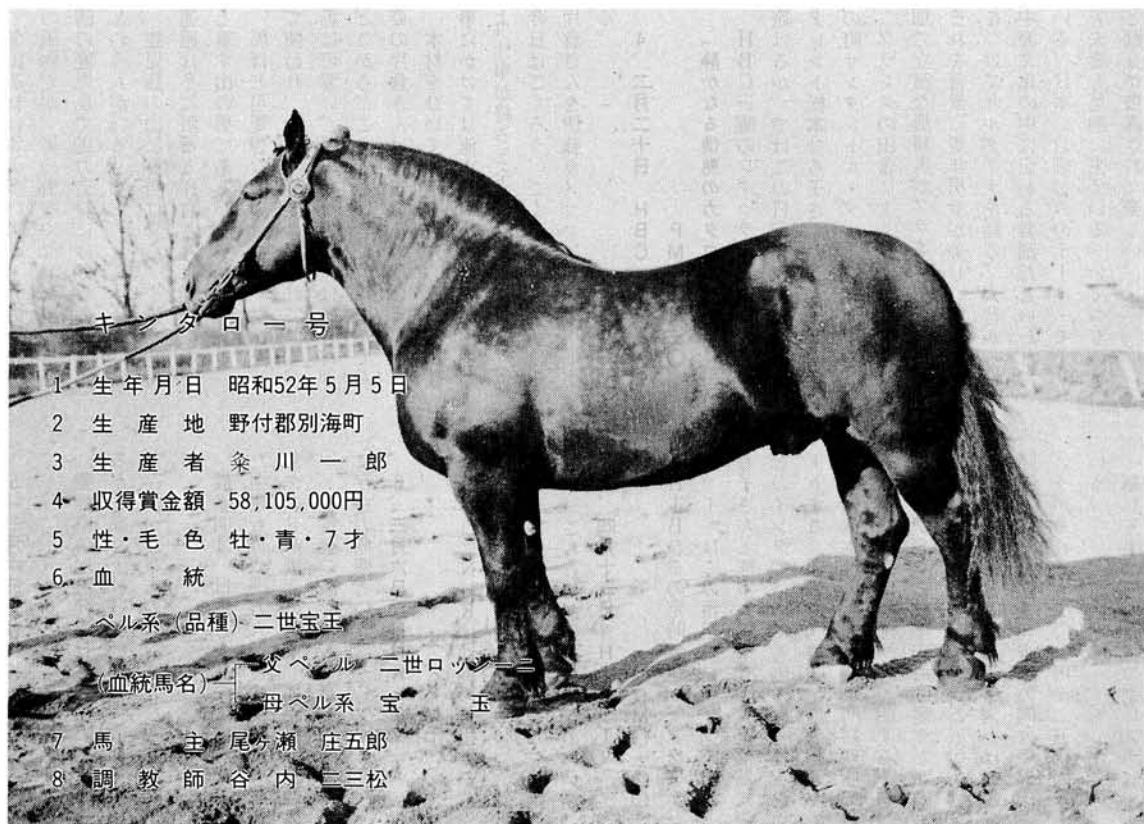
むしろキンタローを除く二着争いにファンのとよめきがごだます。ヤマトウンリユウの鋭い詰め。長い特徴のあるたてがみを揺らせ躍らせてのヤマトウンリユウ、キタノフジの寄り。瞬時瞬時に木村、金山両騎手の鞭音が炸裂し、追い込み躍動する騎手の影が火花を散らす。寸時して僅かに早く木村騎手の鞭打の音が止んだ。

戦いが終わったというよりは、重戦車のパレードが終つたという印象だろうか。馬場に深く刻まれたソリ跡をふり返る各選手の仕種にも、充実感と安堵感といったものが感じられる。キンタローが決勝線を割つたときのどよめきは、何処へ行つたのだろうか。

たそがれ深い馬場で、尾ヶ瀬騎手のまるで本物そっくりの「金太郎」のような童顔に記念撮影のフラッシュが三閃四閃する。

つるべ落としに暮れてゆく馬場に、灯が妖しく点され、次第に光を増すにつれ、辺りは粉雪の舞う闇となつた。

(地全協公正部専門役 水見寿男)



キンタロー号

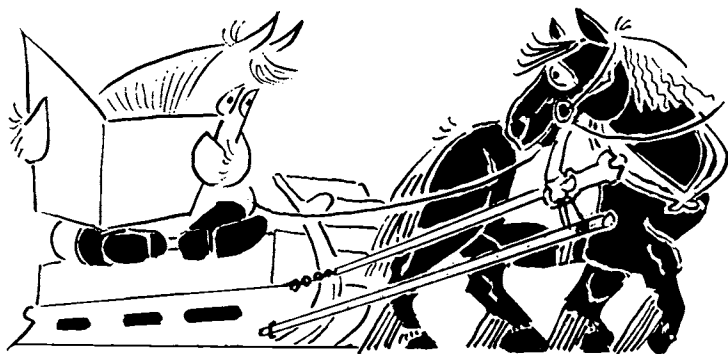
- 1 生年月日 昭和52年5月5日
- 2 生産地 野付郡別海町
- 3 生産者 桑川一郎
- 4 取得賞金額 58,105,000円
- 5 性・毛色 牡・青・7才
- 6 血統

ベル系(品種) 二世宝玉

(血統馬名) 父ベル系 二世ロッキン  
母ベル系 宝玉

- 7 馬主 尾分 頼 庄五郎
- 8 調教師 谷内 二三松

# マスコミに 取上げられた ばんえい



1、五十八年一月三日 NHK・TV  
PM 八・〇〇  
シルクロードシリーズ「壮大な旅ふたび」始まる。この日は長安を出発点とした東方見聞録の史実と中国歴史作家三人によるシルクロケの一節。

東方見聞録によると青年を暗殺者に仕上げたイスラム教暗殺集団の記録をたどってその遺跡を訪ねる。それはエルブスズ山脈のラームダバー村にある。ラバに乗って肝を冷やすような険しい断崖を登って行く、ラバは崖おちばかりを歩く奇妙な習性がある。

第二話は中国通として著名な作家井上靖、陳舜臣、司馬遼太郎の各氏に築波大の助教相馬隆氏が加わってシルクロードを語る。例によって馬が軍民の足となつて活躍する。

2、一月九日 NHKラジオ  
AM 七・三〇

熊本と福岡は馬肉の大消費地。熊本市中央町の曾我忠明氏は馬肉生産に意欲を燃やし同志四人と共に牝四五頭を導入して肉馬生産に乗り出す。従来は競走馬や輸入肉一万二千頭分にあよってきたがそれでは需要に応じきれない。資金は農協から借り受け子分け方式で農家に貸与する。売却時には一頭四十四万円となる計算となり採算は充分という。将来年三百頭の生産を見込んでいる。

3、一月十日 NHK・TV  
AM 八・〇〇

「鹿児島島の造材馬」

冬山造材は雪の多い東北・北海道特有の風物だが、馬の少なくなった現在、南国の鹿児島で馬力造材にはげむ片倉さんという人がいる。

鹿児島島の山にも雪は降る。やはり造材運搬は冬に限ると片倉さんは愛馬「かげ」と暮す山の男である。

馬ほど可愛なものはない。黙々と使われ、働き、最後は売られていく、馬は可愛い、馬のすべてが俺は好きだ。どこからどこまでも好きだ。印ばんでん姿の片倉さんは目をほそめていう。

木材をひいて坂道を駆けおろる。山仕事にかけては俺よりもかげの方が上手だよ。仕事が終わると全身を震でふいてやる。今日はごころう、ごころうと声をかける片倉さんを伊藤カメラマンがレポートする。

4、二月二十日 HBC・TV  
PM 一〇・三〇

「静かなる情熱のカタロニア」

HBC日曜のレギュラー番組「音楽の旅はるか」ではこの日、作家古田進氏とタレント松本ひろ子さんの二人は、南仏の町サンタントル・ブルーを紹介する。フランスの田舎によく見かけるブドウ畑で立派な農耕馬がプラオをかけている。

それを背景に青年男女が美しい民族衣装をつけてサルダーナを踊る。大昔から地中海文化の中に伝わる舞踊だといわれている。日本にお馴染みのポール・モーリア夫妻も見物に来ている。いくつもの歌と踊りが披露されて楽しい。

5、三月六日 NHK・TV  
PM 七・十四

愛知県地方競馬は名古屋と中京にあるが、売り上げは三〇%の大減で中止か存続かで県市のお荷物となった観がある。

最盛期は一日二万人もの入場者があった中京も今や一万人たらずで閑散としたスタンドが画面に出る。従事員の賃金カットや賞金の減額などで乗り切れるか正に存亡の危機という。

6、三月六日 NHK・TV  
PM 七・〇七

同じ日にNHKは沖縄の首里馬祭りを紹介する。馬の頭を胸前につけた大行列がメインストリート（国際通り）を踊り抜く。こちらはなんと景気のいい話。

7、四月十三日 HTB・TV  
PM 〇・〇〇

HTBひるの定時番組「アフタヌーンショー」はこの番組のレギュラー松島とも子さんと熊本大学栄養学教室福島先生とのインタビューで馬肉の優秀性をレポートする。題して「美味・馬肉紹介」。

更に熊本市の有名馬肉専門店では三種類の馬肉料理法を説明する。ショウウインドウには上肉の「馬さし」が並んでいる。並肉一〇〇グラム五〇〇円、上肉は一〇〇〇円で上等牛肉とほとんど同値という。軽種競走馬の肉は下等肉というがそれでも二〇〇円〜二五〇円だという。

福島先生は馬の脂肪のコレステロール

は牛肉の約三分の一で肉質がよく豚肉と比較しても栄養は頗る優秀とデータを示して説明する。最後にパドックにいる大型のブルトンを見てスタッフ一同その大きさに驚嘆の声を上げる。

8、四月二〇日 NHKラジオ

AM五・四五

ここにも造材馬はいる。

大分県鹿嶋山の材木下枝伐採の運搬は馬である。ただしここには名物の山鳥が棲息しているので孵化期には枝はらいも休む、孵化の期間は二四日間という。

9、四月二十七日 NHK・TV

AM八・〇〇

春になると北海道の農村ではなんかざわめきがおこる。四月の中旬ころばんえいのテスト(能力試験)が行なわれるからだ。

ことしの第一回テストは旭川だ。工藤直幸さん(68)は当歳から手塩にかけて育て精魂こめて調教した愛馬キタノエースを出場させる。

心配だった馬体検査もギリギリの目方があって合格。テストの当日、レースは三歳馬から始まった。いつもながらの勇壮なばんえいテストは約二十分間隔で次々と行なわれる。いよいよ愛馬の出場に胸はずませる工藤さん「頑張れー!!」だが第二障害でひざをつき、意外に時間がかかって残念にも不合格。しかし工藤さんは愛馬の走りっぷりに自信が湧き第二回目のテストに挑戦することにする。

10、六月七日 NHKラジオ

AM五・二五

北海道とならぶかつての馬産地岩手で馬肉生産に意欲を燃やす人たち。現在馬はいなくなつたが矢張り造材にも農耕運



搬にも馬は必要だが車や機械に押されてどんどん減ってゆき、絶滅寸前の憂いがある。馬肉はさくら色であることから「さくら肉」というがくら下のヒレ肉などその味は絶品である。最近では岩手の食堂にも「馬さし」の看板が出て、その美味なのにひかれて需要がふえている。

馬は体温が高く細菌がつかない。草食

と山仕事で鍛えられ栄養は満点と大好評。いくら補充しても不足という、産業用をも兼ね一石二鳥をねらい馬産農家もふえているとNHK農業番組のレギュラー林信明氏のレポート。

11、六月一四日 NHKラジオ

AM五・二二

ブームと思われるほど近頃は馬肉の効能が宣伝されている。これもまた馬肉礼讃の話。千葉県八千代市のA氏、今更馬肉の優秀さは説明するまででないがこんな話もある。胸部疾患で医者も見離す重病者が馬肉で胸を湿布したら軽快し医者も驚いて治療を続け遂に快癒したという。馬肉をすりつぶしてメリケン粉を混ぜ和紙に塗り胸部に貼るのだという。

12、七月四日 NHK・TV

AM八・三〇

朝のNHKニュースはばんえい山田勇作騎手の一千勝樹立を伝える。

一法による公営ばんえいが昭和二四年発足してから三五年法定日数をすべて使って開催したとし、いわゆる漸やくプロ化した昭和四二年から一七年、現在は年二十回一二十日の開催だが、四二年は一回六六日だったから千勝はえらい、昨年すでに金山騎手がこれを達成しているから山田騎手は二人目である。

山田騎手は昭和三六年十八歳で帯広ばんえいでデビューし約六五〇〇レースに出場、地元帯広で千勝の悲願を達成した。これをピリオドとして今後は調教師となつてオープン馬の仕上げに専念したいと

抱負を語る。これは翌五日前朝七時のニュースでも再放送された。

13、七月七日 NHK・TV

PM七・三〇

NHK木曜のよる七時半は北海道の時間だ。この日のテーマは「アイデア勝負 摩周屈斜呂観光大作戦」

今話題のクッシーは観光の目玉とあってクッシーの像、クッシーの歌、湖畔の踊り、果てはクッシーを守る会とあり、その会長は挨拶で将来クッシー神社の計画もあるという。

だが観光祭りの圧巻は芦毛の重ばん馬がひく観光馬車。ばん馬二〇頭による乗馬。余興のばん馬競走。乳牛の体験搾乳などである。アナウンサーもおそろおそろのへっぴり腰で乳しぼりをやってみる。

14、七月一四日 NHK・TV

PM六・四四

網走小清水町の原生花園には近くに瀟湘湖があるがその湖畔に重ばん馬の牧場がある。ここにはダニがないという環境と風光に恵まれた牧場だ。この日はあいにくの雨が大勢の観光客がバスでやってくる。北国の牧歌的な風光にひたるためだ。

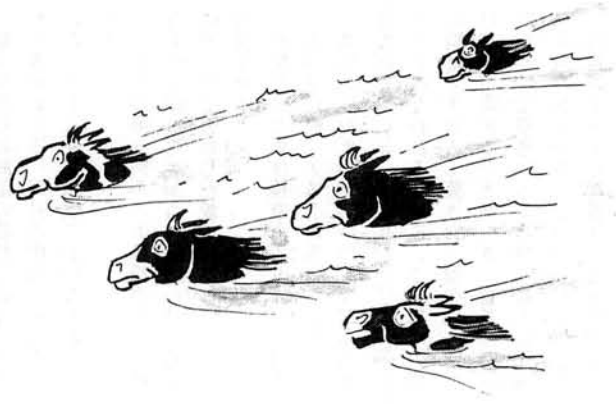
15、八月一日 NHK・TV

AM七・三〇

「テンコチーヌ島の馬狩り」

アメリカの南方洋上に浮ぶ無人島テンコチーヌに野生のポニーが群棲している。対岸にある町の消防隊は隊の資金つくり年に一度この野生馬狩りをやっ





競馬

ばんえいは平地競馬をしのぐ醍醐味がある。開拓の歴史をしのばす草競馬だと本会初代事務局長にからませてばんえいを八段抜きで紹介する。ばんえいの魅力は、(1)世界の巨馬が集まっている (2)二つの障害をこえる直線二百メートルの競走方法と力闘ぶり (3)高配当馬券の興味の三点だ。

17、八月四日 NHK・TV

AM 八・〇〇

伊達町夏祭りの武者パレード計画打合会の模様を伝える。

会議は朝六時半から始まる。議題は農耕馬三十頭を集めなければならない。大将伊達正宗の乗馬は特に大型の芦毛ときまつている。馬のいる家はどこか、馬借に出かける人の訓り振りホラ吹き部隊、乗馬行列分担などであるお祭りまであと二日しかない。会長も一緒になって馬借りに行く。立派な庭園のある農家でも快よく借してくれ、三十頭は揃った。いよいよ武者パレードの当日、伊達政宗の兜には大月型の飾りがついているので馬もおどろきあばれ、三人がかりで乗せる。重い鎧をつけると馬には到底乗れない。一体昔の人はどうだったのだろう。これでは一旦落馬したらもう乗ることはできない。

追いたれた馬は対岸までの約一五十メートルを泳いで渡る。この日つかまつたのは一〇四頭。翌日早速せり市がひらかれ五〇頭ばかりが売れた。値段は四万二千円位、何の目的で買うのか子供が欲しいからとか友達が持っているからというのが多い。金網で囲われたパドックの外からお金を出してたのむ少女も見える。

その捕獲の仕方が残酷だというので動物愛護協会から抗議があったという。

16、八月一日 道新スポーツ

「馬と共に半世紀 プラボーばんえい

イオウとして解散する。あと始末の市職員はつぶやく赤提灯つわものどもが夢のあとか。

18、八月二日 NHK・TV

AM 七・五〇

朝のニュースで前日日曜日に行なわれた十勝瓜幕の祭典ばん馬を見せる。三十年も続いている伝統の瓜幕ばん馬。十勝重種の勇壮な障害ごえ、頬かむりの乗り役に千人をこえる観衆が声援を送る。

19、九月十九日 NHK・TV

AM 七・四〇

北見市営発足三十周年を記念して、九月十八日の日曜日に同市競馬場でばんえいならぬ人間ばん馬競走が開催された。人間ばん馬は既に同じ管内の置戸町で毎年行なわれているが、この日はばんえい走路を使用するの本格的なもの、休日でもあり人も多く盛況だった。

20、十月一日 HTB・TV

PM 三・〇〇

久々でHTBが取上げたばんえい一時間番組。ばんえい競走の仕方と巨大馬を興味深く解説、下見所の出走馬を見てその巨体と重厚な首におどろく。櫓の構造、重量物、数々の馬具の説明、十本の走路は側面図を示して説明する。

いよいよレースが始まり実地によって勝馬検討をやる。舞台は旭川の秋競馬、メインレースは伝統の重賞、旭王冠を生中継で見せる。ホースニュース社のM記者が第二障害と決勝ラインの通過順を予想してみせるが見事に的中する。

21、十一月二十日 NHK・TV

PM 八・四五

北海道のうた「十勝馬唄」

十勝の秋にはあちこちの農村でばん馬競走が始まる。U字型ばん馬コースにはふたつの障害がある。八百キロの重量物を櫓にのせて力をきそう。スタートラインでは頬かむりの駆者と十勝重ばん馬が足ぶみをして張り切る。北海道の民謡歌手佐々木基晴が歌う十勝馬唄に合わせ北海道秋の風物農村ばん馬が展開する。

カメラは十勝農耕馬の代表的生産牧場十勝種畜牧場に移り馬群をとらえる。はるかな十勝岳の秀峰を眺望する広野に流れる河畔を大馬群が移動する。

五月中旬から放牧をはじめ十一月厩舎にかえる。農道を駆ける大馬群は見事だ。これは十一月二七日夜八時四十分から再放送された。

22、十二月九日 NHK・TV

AM 八・〇〇

「青毛の春姫号でおが屑運び」

白糠町の高橋さんのレポート、現代は簡単な灯油ストープ時代で、おが屑は製材所の厄介ものである。馬車一台分で五万円のおが屑は石炭より安く、温度は新と同じ位で健康によいと今でも約五十軒の需要がある。

春姫号は以前冬山造材で働いていたが、当時は仲間が五十頭位いたのに、今はトラクターが馬の何十倍もの木材を運び皆転業してしまつた。

白糠線の廃止で列車は町営バスに変わり

トラックが木材を山と積んでいく、かわら高橋さんが木挽唄を口ずさみながらいく。なにか時代の流れを感じる風景だが高橋さんの生活は定着している。仕事は一日も欠かさない。道行く人みんながお馴じみで逢う毎に挨拶を交わす。

春姫は人間でいえはもう六十歳。人も馬も共にいいしになった。馬は可愛い奴、うまやへ行くと足がきして鼻を鳴らす。お互いに健康に注意していつまでもこの仕事をやっていきたいと高橋さんはいふ。

23、十二月九日 NHK・TV

PM 10:00

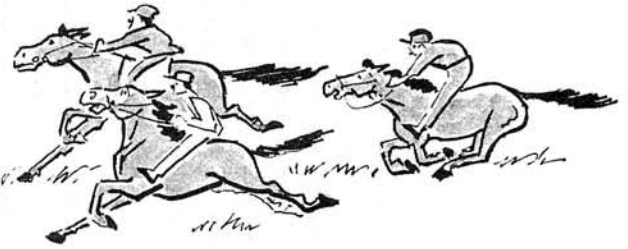
中国シルクロードにあるバザール地方の騎馬民族の生活を見せる。

騎馬民族の血は緑の草原に今も脈打っている。この地方はシルクロードの中で最も豊かな草原に恵まれている。険しい山のつらなる山麓には緑一様のゆるやかな起伏がはるかな丘々へとつづき、羊と馬の群がまるで白波のように移動するのがみえる。ここでは毎年、草原で市がひらかれ勇壮な競馬が行なわれる。距離は三千メートル位、スタートとゴールの地点しか示されていないオープンコースを老若男女が勝負をきそう。鞍なしの裸馬に乗っている者も多い。

24、十二月十六日 NHK・TV

PM 10:40

これもシルクロードの馬のはなし。世界中で馬が最も利用されているのは昔がそのまま残っているようなシルクロード



あたりしかないような気さえする。

シルクロードのコザック地方は駿馬の産地として著名である。往時コザック民族との交流によって、この地方の馬は目ざましい改良をみせ天馬の里といわれた。天山山脈北方の緑なす山間にふたつの軍馬牧場がある。ここでは約十万頭の天馬が育成されている。その方法はほとんど放牧で一千頭位を一馬群とし、はるかなる広野を何集団にも分れて駆ける。わずかに十分間のレポートだが息をのむ圧巻。

25、五十九年一月四日 NHK・TV

PM 2:10

「にっぽん北から南から」の番組で雪のばんえい調教を見せる。

岩見沢は人口八万の大都市、夏のばんえい競馬にそなえて林に囲まれた畑地の中の農道で深雪を踏み分け、三頭の新馬が仕込まれている。明治以来多くの農耕馬がいたが今はばんえいでしか見られなくなった。タイヤに鉄の重量物をのせて雪中をひかせる。二歳馬タケノダイヤ号は三頭のうち最も有望だ。始めて櫓をつけたときは歯をむいて抵抗し咬みつかれたものだが、二週間で櫓にも馴れた。二月が来ると競馬場に入れて他馬と合わせ一日と調教を厳しくする。二百メートルの直線練習走路を何回も往復して、汗

は湯気となって馬体からたち昇る。

26、一月八日 NHK・TV

PM 10:00

山口県萩市は吉田松陰の松下村塾と昔ながらの武家屋敷が保存されていること有名だが、この日は「流転の王候騎馬図」を紹介する。この絵はおそらく伊達政宗の手許から流れたものといわれるが、その流転の道のりは明らかでない。伊達政宗が桃山時代遠くローマに使節を送ったことは有名である。ヨコ二尺五寸タテ五尺ほどの王候騎馬図は六帖一対の屏風に装丁された日本画だがその描法は西歐



流で昭装も顔も外人である。江戸時代の画家前原一誠筆というのが有力である。兎も角重ばん馬型の頗る立派な大型馬にまたがった堂々たる王候の画は絶品といえる。

27、一月十四日 NHK・TV

AM七・三〇

北見のばん馬調教のはなし、画面は真赤に焼けた蹄鉄つくりから始まる。この蹄鉄（氷上蹄鉄・ゴトクともいう）をはいてかつてのばんえい調教師窪内久義さんの愛馬カツエー号は冬調教にはげむ。冬が明ければテストがある。それへ向けてカツエーの調教は日々はげしくなる。戸外は零下二十度の寒さだ。馬は鼻息もあらくビツシヨリと汗をかき膝上までの雪をかき分けて躡進する。窪内さんのするどいかけ声とムチに馬も人も汗ビツシヨリ。全身から湯気が立ちのぼる。小休止になると窪内は優しく声をかけながら汗をふいてやる。

放牧場では四頭の新馬を長鞭で追い調教をする。馬は娘と同じように可愛い、窪内さんは馬と一語になつて雪を喰つて湯をいやす。

林に包まれた夜の厩舎にかいばつげにいくと馬たちはいなき窪内さんを迎える。窪内さんは馬に語りかけるように合格を訴る。力をつけた。馬につばさをつけた。吹雪の地平線までも走りつづけて行こう。窪内さんの激しい調教の中で人馬の交流は深まっていく。

28、一月十九日 NHK教育TV

PM八・四五

「日本列島北から南まで」シリーズ、この日はカメラマン升内敏信氏が撮影した日本在来馬を見せながら説明する。北は北海道土産馬から南は沖繩の与那国馬まで約十種の和種を紹介する。

根室の孤島に放牧されている大型馬については先年報道されたこともあるが、これは洋種の半血馬を放牧して野生化した日本馬だと説明する。

29、一月二十一日 NHK・TV

PM七・一〇

五十九年のばんえいは二十一回の開催がきまり一月ともなれば農村や各競馬場のばんえい調教は一段と激しくなる。この日NHKニュースは旭川競馬場のばんえい調教をみせる。

30、一月二十八日 NHK・TV

AM八・〇〇

この冬の北米は異常な寒波に見舞われテキサス州ではエサ不足と寒気のため約一千頭の馬が死んだという。そんなときに二万頭の馬が一牧場に集られた。ところが商談がご破算となり馬たちは吹雪と寒気にさらされエサ不足で凍死寸前にあるという。これは肉用馬で多くは中間種いたが軽種、重種も含まれている。動物愛護協会から厳しい抗議とエサの寄付があり、そのエサで急場をしのぐことになる。寒さの中之しいエサに群がる馬は哀れである。ナレーターが食用肉でもウマイ話ではありませんかと結ぶが、さすが大陸アメリカ、話もでかい。

## まだ日本に輸入されたことのない馬の紹介

### 原産ロシア リトアニア

おとなしいが、エネルギー豊富なロシアのこの品種は、輸送や農作業に使われている。その馬格やらくらくとした歩様は、一般に、よく知られている。

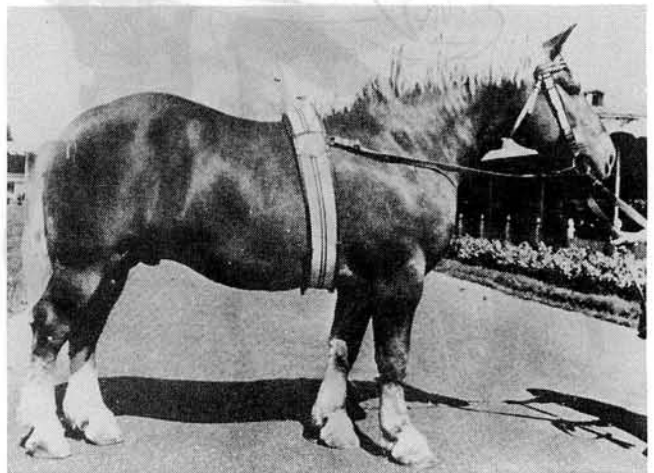
基本型と軽量型の2つのタイプに分かれる。前者はからだが大きく、長く厚味のある、横幅の広い胴と、複尻で斜尻である。筋肉は発達しており、4肢は短い、かなり円形の骨をもち、若干の距毛がある。基本型リトアニア重種馬の気性は、おとなしすぎて、時にはのろみである。しかしながら軽量型は、ズムドキ馬 (Equus Samogitarius) の外貌を受け継いでいる。基本型より体高は高いが、反対に胸囲と管囲は小さい。

頭は小さく中程度の高さで、広い額をしたこのタイプは、比較的胴体が短く、肋ばりがよくて、はっきりした複尻ではなくて、丸味をおびた長い尻をしている。

4肢は頑丈で力強く、距毛が少ない。

たてがみは長く豊富である。このタイプは飼育が容易で、歩様が良い。

両タイプともベルギー重種およびドイツの重種に近い。はなはだ巨大な大きさに成長してしまうことがたまにある。



# ばんえい競走広報活動実施状況

広報活動	旭川市	帯広市	北見市	岩見沢市	市営競馬協議会
ファン感謝デー	〽️ お楽しみ抽選会 サンバイザー 1,000個 Tシャツ 10枚 ディレクター チェアー 3台 カーワックス 20個 〽️ ランランバック 6,000個	〽️ エプロン 500枚 〽️ くつ下セット 3,000枚(場外500) 〽️ 秋アジ 100本(場外20本) 〽️ 大分県民芸12支セッ ト 200個(場外50個) 〽️ 大分県民芸土鈴 3,000個(場外500個)	〽️ お楽しみ抽選会 ラジオカセット 10台 自転車 10台 〽️ 木彫りキーホルダー 3,000名 カラーテレビ 10台	〽️〜〽️ タバコ(5本入) マッチ、うちわ、絵葉書 「ガンバ君」パッチ、シ ール	
ポニー乗馬サービス	日、祝日、無料 3頭	日、祝日、無料 5頭	-	日、祝日、無料 2頭 ポラロイド写真サービス	
道内P. R	新聞、テレビ、ラジオ、ポスター、看板、広告塔、シール、ステッカー、たれ幕、マッチ、日程表、宣伝カー	同 左	同 左	同 左	毎金曜日「ばんえいハイライト」のTV放映 「ばんえいカレンダー」の配布 会報及び日程表の配布
道外P. R	ばんえいツアー(関西)	-	-	-	「ばんえいカレンダー」の配布 会報の配布
ファン人気投票レース	-	-	-	ポプラ賞競走 Tシャツ、エプロン、トレーナー	-
その他	○ばんえい競走実況生中継T.V.(1時間番組) ○ちびっ子綿あめプレゼント	○コンパニオンによるキャラバン隊の実施 ○アンドロメダスショー ○ジャズダンス ○ちびっ子おもちゃプレゼント ○甘酒、コーヒー無料サービス	○ばんえい競走馬市内パレード(15頭) ○馬力大会 ○無料バスの運行 ○人間ばんばの実施	○北海道馬力大会 ○花火大会 ○簿暮レースアトラクションの実施 ○ばんえい婦人教室 ○人間ばんばの実施	

# ばんえい便り

## 1 競馬監督

農林水産省畜産局競馬監督課から、ばんえい競走の監督に左記の日程でこ来場になり、熱心な監督とご指導を載いた。

5月7・8日 旭川 土田監督官  
5月18・19日 帯広 安橋課長

〃 青山班長  
〃 古田土監督官

8月6・7日 岩見沢 大内監督官  
10月22・23日 旭川 田中監督官

11月27・28日 帯広 岩淵監督官  
また北海道事務所からは

7月2日 帯広 河村次長  
7月27日 岩見沢 川原投票課長

9月16日 北見 伊藤調査員  
荒谷施設課長  
大沢主査

2 千客万来  
5月5日 地全協大山副会長来場  
5月14日 旭川生長老人クラブ一行

6月11日 神奈川県難波課長他2名  
6月15日 岩手県競馬組合小野寺総務次長他8名

6月18日 農水省畜産局皆川氏他5名  
7月3日 地全協広報課吉田氏他1名

7月11日 千葉県議員3名  
愛知県議員9名

北広島老人クラブ一行  
ニセコツアー一行

7月13日 群馬県立林市議会議員9名  
10月2日 ばんえいツアー一行71名(読売)

10月3日 東亜国内航空旭川支店長山

## 崎氏他7名

10月4日 ばんえいツアー一行26名(読売)  
10月7日 ばんえいツアー一行57名(読売)

10月9日 ばんえいツアー一行28名(東急)  
10月10日 ばんえいツアー一行41名(東急)

10月11日 上川生産連林参事  
10月22日 理化学研究所理事長

3 旭川拓銀でばんえい展  
北海道拓殖銀行旭川支店で四月十八日から五月十二日まで銀行内ロビーで「旭川ばんえい競馬展」が開かれ、同行を訪れた人々になかなか人気があり良いPRとなった。仔馬のはく製やパネルにま

めた競馬の歴史、競走用具の解説、馬具、騎手服の展示、歴代名馬の写真パネル、競走のビデオテープの放映等種々趣向をこらしたばんえい展であった。

4 美人一日委員長  
帯広競馬の六月一九日はレディステートとして、美人一日委員長が登場。帯広市内の美人コンテストで優勝したミス・スズラン娘の太田美津江さんで、入場者の観迎、場内巡視、表彰式のアシスタント等、にこやかな表情での活躍はファンに大好評であった。尚、当日は女性入場者にエプロンのプレゼントがあり、またアトラクションとして、ミスターソニーとジャッキーズのジャズダンスショーが場

内で開かれて、レディステートに華をそ

えた。

## 5 沢崎さん産業経済功労賞受賞

北見市宮競馬に三〇年来の協力者である沢崎博さんが、六月十日北見市開基祭の席上で北見市長から「産業経済功労賞」を受賞された。競馬の世界では昨年、帯



美人1日委員長



旭川拓銀でばんえい展



広市の調教師中西関松さんに次ぐものである。沢崎さんは北見市出身の速歩騎手として活躍、現役引退後は北見市競馬協会の役員として競走馬の勧誘等に尽力、また永い年月北見市競馬運営委員としてその重責をこなし、数年前高令（現八十四才）のため引退なさったが、永年に渡る競馬隆盛の基礎を築いた功績が認められ今回の表彰となったものである。なお競馬関係有志六〇名が集まって八月二十九日北見市ロイヤルホテルで受賞祝賀会を盛大に開催した。

#### 6 一日に万馬券が二レース

ばんえい競馬は万馬券が平地に比較すると非常に少く、五十八年は八レースしかでていない。その為が一日でたのもめずらしい。

#### 帯広競馬六月十九日

第一レース 2 3 一、一〇〇円

第二レース 1 3 一、六七〇円

二レース共に三才レースであり、当日の一レース平均配当は三、三五〇円であった。参考までに、年間一、二七一レース連複の一レース平均配当は二、〇二〇円である。

#### 7 七月三日はレコードラッシュ

第二回帯広競馬第四日の七月三日は色々なレコードが出た。

#### ①11レースオールフルゲート

昨年北見で10レースオールフルゲートのレコードがでたが、今回は11レースの新記録となった。

#### ②帯広大賞典の売上レコード

当該レースの売上レコードは四九、〇六二、六〇〇円であったがそれを今回は上廻り、五〇、一九七、三〇〇円のレコードとなった。

#### ③女性入場者二・一四%

当日はファンサービスデーとして入場者にオリジナルマーク入靴下を三千名に贈ったが事前のPRが効を奏し、女性の入場者が万来、入場者六、五一三名中女性が一、五〇七名（二・一四%）の高率で全道レコードとなった。

#### ④山田騎手一、〇〇〇勝達成

第一〇レース帯広大賞典競走でハヤホマレ号に騎乗、見事一着となり、念願の一、〇〇〇勝を達成した。

#### 8 寒かった六月の十勝

全道的に天候不順の続いた春だったが帯広競馬開催中は特にひどかった。

平均気温一〇・二度

平年よりマイナス四・三度で明治三十年以来の新記録、特に中旬は九・四度で最低。

#### 日照時間

八九・五時間

平年より七七時間少く、大正二年に次ぐ歴代二番目。

#### 降水量

一三九・五ミリ。平年より三七ミリ増。降雨のなかった日は四日間のみ。

これで十勝の畑作物は大凶作、ばんえい競馬の売上にも大きく響いた。

#### 9 婦人競馬教室は大盛況

七月二十四日、岩見沢競馬場で「婦人競馬教室」を開催した。参加人員は五五〇名で昨年より約一〇〇名増、第三レース確定後谷村委員長の後、市協鈴木事務局長の「馬券必勝法マル秘情報」と題して、馬券作戦に参考となる馬の見方の講義があり、競馬新聞を手熱心にメモをとる人、食い入るような目つきで聞く人が多く、盛況であった。最後に抽せん会を開いてエプロン二〇〇枚、ハンカチーフ全員、婦人用バック一〇個を贈呈し、大変喜ばれた婦人教室であった。

馬の代りに人が鉄そりを曳く「人間ばんば競走」がアトラクションとして岩見沢と北見で実施した。市内の職場単位チームの協力を得て一チーム七名編成で鉄製練習用そりに一名が騎手として騎乗、六名が馬の代りにそりを曳く珍レース、力自慢の面々も意外に重いそりに精根つきはて、ゴールイン後転倒馬続出、数百名の応援団も物凄く、幟を立てての熱狂振りであトラクションとしては大成功であった。

#### 10 人間ばんば大会

七月三十日、岩見沢競馬場に青い目と日系二世を含め、五名のハワイ大学女子学生がばんえい競走を見学に来場、生れて初めて見学、象の様に太い競走馬を見てまず一驚、中川課長の説明で終日競走を楽しんで行かれた。委員長室では大きな蹄鉄の説明をうけ、あまりの大きさにビックリ仰天。

#### 11 ハワイからのお客様

七月二十四日、岩見沢競馬場で「婦人競馬教室」を開催した。参加人員は五五〇名で昨年より約一〇〇名増、第三レース確定後谷村委員長の後、市協鈴木事務局長の「馬券必勝法マル秘情報」と題して、馬券作戦に参考となる馬の見方の講義があり、競馬新聞を手熱心にメモをとる人、食い入るような目つきで聞く人が多く、盛況であった。最後に抽せん会を開いてエプロン二〇〇枚、ハンカチーフ全員、婦人用バック一〇個を贈呈し、大変喜ばれた婦人教室であった。

#### 12 城卓也もばんえいファン



人間ばんば

岩見沢競馬場にヒョッコリ顔を見せたのが「骨まで愛して」でヒットした城卓也さん。北海道公演の合間を見ての来場でしたが一日で帰るかと思つたらすっかりばんえいが面白くなったのか三日間連日の来場でした。最終的にはプラスにな



ハワイからのお客様

つたかマイナスになったかは聞きもらしたが？



城卓也もばんえいファン

### 13 美人女性厩務員の登場

4、5才馬ファン投票レースである第五回ポブラ賞競走に花を添えるべく厩務員のアシスタントとして10名の美人厩務員がお揃いの特注Tシャツにジーパン姿で颯爽と登場、パドックで暴れる馬も、美人の口取で大人しく廻り、ファンは若いポインチャンと馬の両方をながめて楽しみ大変好評であった。

### 14 競馬場の蜂公害

どこの競馬場でも鳩の糞公害が問題となつてはいるが、北海道らしく岩見沢と北見で蜂公害が発生した。八月の異常高温のためか両場で地蜂が多発し、厩舎構内、走路、スタンドにと競馬場内はどこでも蜂がブンブン、場内ではファンが一日に



女性厩務員

七、八名も刺されたこともあり、騎手もまぶたを刺され「お岩さん」の様な顔になつた者もでるなどとんだ蜂騒動となつた。

### 15 日本初のナイターレース

八月三日、岩見沢競馬場でナイターが行なわれた。但し本番ではなくアトラクションとしてである。毎年競馬場主催の花火大会は岩見沢市民の楽しみの一つであり、それに合わせてナイターを実施した。発走は日没後の七時三十分、出走馬は十頭、水銀燈に照らされた白い砂塵の中から突進してくる昼間とは違つたムードと実感さながらの迫力あるレースに一万六千名の入場者はヤンヤの喝采、「本番のナイターがあればな」の声も多かった。当日は入場者先着五千名に整理券を渡し、末尾番号が一、二着と同じ券を持つ千名に道産米「キタヒカリ」二〇〇g入がプレゼントされ、ばんえい大鼓、民謡、ウルトラマンショー等、数々の催しもあり、競馬を初めて見る入場者が多い花火大会だけにそのPR効果は抜群であった。

### 16 水沢競馬でばんえいが走る

水沢市と北海道の長沼町の姉妹都市締結十周年を記念し、水沢競馬場でアトラクションとして九月二十五日、ばんえい競馬が二レース行なわれた。競走馬は元オーブンクラスのアサミドリ号以下六頭、騎手は坂本東一、西康幸、鈴木正貞、三浦弘文の四名、鉄製競走用そりや競走用具一式を送りこみ、練習馬場に設置した

二つの障害を作つた特設コースで三頭づつ、平場と特別の重量差をつけて二レース実施した。当日はメインレース東北優駿があるので入場者は一万数千名、スタンドとコース内側の遊園地には本場のばんえいの興奮を肌にとファンが押しかけ、一味違つた競馬の醍醐味に歓声を上げていた。

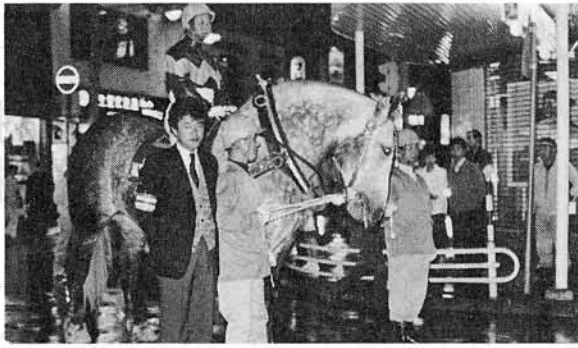
### 17 北見で競走馬市内パレード

市営競馬施行三十周年を記念し北見市内で現役競走馬十五頭によるパレードを実施した。九月十四日、午後六時、花火を合図に市民会館を出発、パトカーを先導車とし、北見市消防音楽隊、本会三



水沢アトラクション

浦技師騎乗の誘導馬、一トン以上のオーブン馬十五頭に騎手が騎乗（厩務員口取二名）の大パレードで目抜き通りを行進し、市役所で解散。生憎の小雨模様であったが、夕方の人通りの多い商店街では、間近で見ると一トン以上の大型競走馬の重量感に驚異の声があちこちで聞かれ、人氣は上々、新聞紙上にも大きく取上げられる等PRの効果は大きかった。



北見市内パレード

18 ばんえいツアーの来場

毎年大阪方面から「ばんえい見物と初秋の大雪」のキャッチフレーズで旅行業者が募集した北海道ツアー一行七〇名が今年も旭川競馬場に貸切バスで来場、四レース程競走を見学、初めて見るばんえい競走の迫力に目をみはり、馬券の当つ

た人もはずれた人も競走を十分に楽しみノベルティや大きな蹄鉄のプレゼントを贈られ、にこにこしながら層雲峡温泉に向った。今年は20才、60才のカップルが多いのが目立った。

19 十月大吹雪の競馬

今年の北海道は初雪が早かった。十月七日旭川地方は約7〜8cmの降雪があり収穫前の稲は雪の重みで皆ねてしまい、コンバインが入らず手刈りとなり、農家は猫の手もかりたい多忙な毎日で競馬にも大きく影響があった。また十月二十四日の最終日は朝起きてみたら又十cmの積雪で第一レースからみぞれまじりの吹雪の中で開始、途中風が強まり、大吹雪でのレースもあり終日雪になやまされこんなひどい競馬はばんえい史上初の経験となり、期待した最終日も売上二億の低調で終了した。

20 女性入場者三二%

十月二〇日の帯広競馬は重賞競走帯広記念の日であったがノベルティの大分県民芸品ねずみ土鈴三千個のPRがきいたためか、早朝から女性入場者が列をなし、総入場者五五八三名中、女性一七〇九名で比率三〇・六%の高い%となった。可愛い真白なねずみ型の土鈴をもらって皆ニコニコ顔、この数字は帯広女性入場者のレコードであり、全道平均一五・七%の約二倍の入場者であった。

21 山田騎手一〇〇〇勝達成

ベテラン山田勇作騎手が昨年達成の金山騎手に続いて念願の一〇〇〇勝を七月

三日、帯広大賞典でハヤホマレ号に騎乗して達成した。昭和三十八年初騎乗以来、六、六二戦目の快挙であり、リーディングジョッキー第一位としては昭和四十五、四十九、五十、五十三年の四回表彰され、年間一〇〇勝は金山騎手に続き、昭和五十三年に二人目として達成している大ベテランである。



山田騎手1,000勝

22 秋の重賞男尾ヶ瀬騎手

尾ヶ瀬騎手の活躍はすばらしかった。ばんえい四大重賞競走中、岩見沢記念は金山騎手にゆずったが、

10月9日 旭王冠賞

キンタロー号 六五〇万円

10月23日 農水大臣賞

キンタロー号 七〇〇万円

11月20日 帯広記念

カイリキ号 六〇〇万円

重賞三レースを総なめ、その他

5月22日 優駿牝馬

マルトクイン号 二〇〇万円

10月24日 旭川記念

トヨタカ号 四〇〇万円

11月3日 黒ゆり賞

ホウエイヒメ号 二〇〇万円

の三才、四才、五才の重賞競走を征服し、特に10、11月は重賞男の名をほしいままにした大健闘ぶりであった。

23 大荒の十一月帯広

一発のきくばんえいで配当金は平地に比較すればかなり高額配当が多い。本年度の連復平均配当金は二、〇二〇円で最高二一、六一〇円最低一八〇円であった。第四回帯広競馬は毎日高配当が続き、新記録を作ってしまった。一期間六〇レース中一、〇〇〇円以下が五レース、一レース平均二、三五五円、最高九、四〇〇円、最低六一〇円、また連続記録としては、第三回五日九レースから第四回四日一レースまで連続四三レースが一〇〇〇円以上平均二、七〇一円。

# 市営施行三十周年で念願達成 三場揃って道営競馬を追こす

市営競馬と道営競馬は、北見を除き同一競馬場でそれぞれ開催しているため、どうしても比較される。

市営競馬は、先輩である道営競馬を良き手本として、運営面等で永年にわたるご指導を受けて現在まで成長した。

近代ばんえいの黎明の年であった昭和四十八年を契機とし、全国のトップクラスの伸率で躍進を続けてきたが、昭和五十五年をピークとして下降線をたどることとなった。

道営競馬もばんえい同様あまり芳しい成績とは言えないが、売上面においては道営と市営は昔から良い意味でのライバル意識があり、「道営に追いつけ追いこせ」をばんえい競馬のスローガンとして、日夜努力をしてきたところであります。

旭川、帯広、岩見沢の三場で、先陣を切ったのが昭和四十九年の帯広で、一日平均売得金が道営対比一一三・一%、二番手は昭和五十年の旭川で一一〇・二%でそれぞれ追いこし、両場はその後も年々

その差を拡げてきたが、岩見沢だけは好調な道営に追いつけず、除々にその差をつけて追上げてはきたが、つかむことはできなかった。

しかし、本年度はお盆開催の関係もあり、前年対比九九・六%の好成績で、やっと道営を追いこすことができ、市営競馬施行三十周年目で、念願の三場揃って道営競馬を凌駕する年となった。



1日平均売得金比較表

(単位：千円)

年度	旭川			帯広			岩見沢		
	市営	道営	%	市営	道営	%	市営	道営	%
49	153,129	—	—	145,805	128,966	113.1	161,480	238,478	67.7
50	192,687	174,851	110.2	154,442	128,953	119.8	158,606	262,345	60.5
51	202,955	154,631	131.3	185,752	145,977	127.2	194,906	322,791	60.4
52	238,347	131,733	180.9	199,830	164,047	121.8	180,908	271,054	66.7
53	248,301	163,173	152.2	204,544	150,274	136.1	237,053	307,117	77.2
54	278,476	154,907	179.8	230,789	169,309	136.3	240,514	277,803	86.6
55	298,042	149,934	198.8	262,396	157,891	166.2	269,270	294,920	91.3
56	286,723	171,564	167.1	200,966	147,766	136.0	247,006	256,316	96.4
57	234,537	142,451	164.6	202,219	144,426	140.0	206,813	225,156	91.9
58	202,382	109,139	185.4	203,424	124,606	163.3	205,883	194,897	105.6

※%は、道営を100とした比率である。



# ばんば祭典

馬産奨励事業の一環として、昭和四十八年度より実施した、祭典（記念）ばんば競走の保存奨励事業も年々内容が充実し、又、開催地も増加し、各主催者の努力のほどがうかがえます。今後共市営競馬発展のために、ご協力願います。

ここに、各主催者より送られた終了報告書をもとにして各地の祭典（記念）ばんば競走を紹介します。

## ○第十五回全松山鞍馬大会

一、主催 江差町畜産連絡協議会  
会長 高島 秀夫

- 二、開催日 四月三日
- 三、場所 江差町水堀特設会場
- 四、出走頭数 六十四頭
- 五、競走数 十五レース
- 六、入場者数 七〇〇名



七、本会副賞受賞馬 清姫

八、馬主 ペル 雌三才

九、明年度開催の予定 四月

## ○第八回北渡島家畜商茅部支部鞍馬競技大会

一、主催 北渡島家畜商業協同組合

二、開催日 五月十五日  
会長 西村 忠三郎

三、場所 森町青葉ヶ丘公園

四、出走頭数 一三〇頭

五、競走数 二十五レース

六、入場者数 一〇、〇〇〇名

七、本会副賞受賞馬 タカラコマニセイ  
八、馬主 厚沢部町 高野忠  
九、明年度開催の予定 五月



○第四回浦幌町ばん馬大会

一、主催 浦幌町馬産振興協議会

二、開催日 八月二十日

三、場所 浦幌町字帯富常設会場

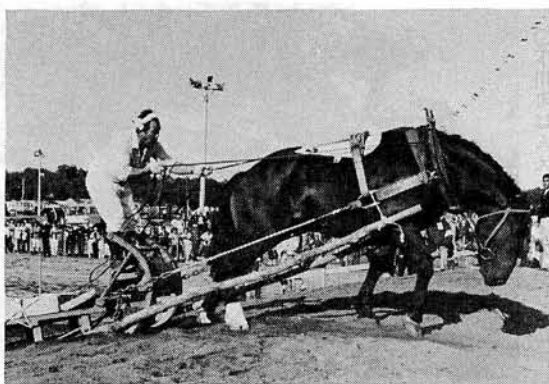
四、出走頭数 五十四頭

五、競走数 二十二レース

六、入場者数 五〇〇名

七、本会副賞受賞馬 キンバイ  
八、馬主 本別町 南部文夫  
九、明年度開催の予定 八月

○第十回馬事競技大会  
一、主催 別海町馬事愛好同志会  
会長 半田 秀雄



二、開催日 九月二十二、二十三日

三、場所 別海町農村広場馬事競技場

四、出走頭数 一二七頭



- 五、競走数 三十三レース
- 六、入場者数 二五、〇〇〇名
- 七、本会副賞受賞馬 カツホマレ

雌八才

- 八、馬主 上士幌町 渋谷克雄
- 九、明年度開催の予定 九月十四、十五日

○第九回靱曳競技大会(祭典)

- 一、主催 上士幌町靱曳同好会

会長 中島新一

- 二、開催日 九月二十日
- 三、場所 上士幌町民野球場横広場
- 四、出走頭数 六十四頭
- 五、競走数 二十五レース
- 六、入場者数 五〇〇名
- 七、本会副賞受賞馬 マツノリウ

雄五才

- 八、馬主 阿寒町 長村豊司

- 九、明年度開催の予定 九月二十日

○第十六回足寄町靱馬大会

- 一、主催 足寄町靱馬協会

会長 斉藤祐一

- 二、開催日 九月十五日
- 三、場所 足寄町里見が丘
- 四、出走頭数 一〇三頭
- 五、競走数 三十二レース
- 六、入場者数 八〇〇名
- 七、本会副賞受賞馬 シウエイ
- 八、馬主 足寄町 永井 満
- 九、明年度開催の予定

○滝上町秋期靱馬競技会

- 一、主催 相馬妙見神社愛馬満

会長 斉藤忠治



- 二、開催日 九月一日

- 三、場所 滝上町幸町靱馬競技場
- 四、出走頭数 五十四頭
- 五、競走数 二十一レース
- 六、入場者数 二、〇〇〇名
- 七、本会副賞受賞馬 旭姫号

ベル 雌四才

- 八、馬主 滝上町 高橋実

- 九、明年度開催の予定 九月一日

○豊浦ばんば競技大会

- 一、主催 豊浦町馬産改良同志会

会長 西川正

- 二、開催日 八月七日
- 三、場所 豊浦町字桜スカンジア広場
- 四、出走頭数 八十四頭
- 五、競走数 二十レース
- 六、入場者数 五〇〇名

- 七、本会副賞受賞馬 タツゴロ
- 八、馬主 室蘭市 福岡正義
- 九、明年度開催の予定 八月上旬

中半 雄二才



○池田町靱馬競技大会

- 一、主催 池田町靱馬愛好会

会長 田中弘

- 二、開催日 六月十五日
- 三、場所 池田町字清見特設馬場
- 四、出走頭数 八十五頭
- 五、競走数 二十三レース
- 六、入場者数 一、九〇〇名
- 七、本会副賞受賞馬 トヨタヒメ

重半 雌三才

- 八、馬主 池田町 金川善四郎
- 九、明年度開催の予定 六月十五日



○下川町ばんえい競技大会

- 一、主催 下川町ふるさとまつり振興会

会長 山口恒二

- 二、開催日 九月四日
- 三、場所 下川町中央橋上流特設会場
- 四、出走頭数 五十三頭
- 五、競走数 二十レース
- 六、入場者数 一、四〇〇名
- 七、本会副賞受賞馬 藤桜

半血 雌六才

- 八、馬主 下川町 黒川末男
- 九、明年度開催の予定 九月上旬

○弟子屈町靱馬競技大会

- 一、主催 弟子屈町馬産振興同志会

会長 阪口麻一

- 二、開催日 九月四日
- 三、場所 弟子屈町馬場
- 四、出走頭数 八十五頭
- 五、競走数 二十三レース
- 六、入場者数 一、〇〇〇名
- 七、本会副賞受賞馬 テルミヒメ  
半血 雌十四才
- 八、馬主 弟子屈町 端正行
- 九、明年度開催の予定 九月上旬



- 〇鹿追町馬競技大会
- 一、主催 鹿追町瓜幕競馬会  
会長 菊池 義憲
- 二、開催日 八月二十一日
- 三、場所 鹿追町瓜幕競馬場
- 四、出走頭数 五十五頭
- 五、競走数 三十レース

- 六、入場者数 一、〇〇〇名
- 七、本会副賞受賞馬 カツホマレ  
雄九才
- 八、馬主 上士幌町 渋谷克男
- 九、明年度開催の予定 八月二十一日
- 〇標津、中標津連合馬事競技大会
- 一、主催 標津、中標津地区馬事愛好会
- 二、開催日 八月二十八日
- 三、場所 中標津町南中特設競馬場
- 四、出走頭数 一二〇頭
- 五、競走数 二十五レース
- 六、入場者数 五、〇〇〇名
- 七、本会副賞受賞馬 アサヒイサミ  
半血 雄八才
- 八、馬主 鶴居村 日野好祐
- 九、明年度開催の予定 八月中旬

### 第8回 標津・中標津連合 馬事競技大会

期日●昭和58年 8/28

場所●中標津町南中特設競馬場

**勇壮!! 人間ばん馬。**

200人のばん馬を、至ち200頭の馬を、引ける引ける  
限界に挑戦! 観てご参加下さい!

- 〇むろらん港まつり
- 一、主催 室蘭競馬同志会  
競技委員長 大脇 義男
- 二、開催日 八月三十一日
- 三、場所 室蘭市入江町港湾業務用地
- 四、出走頭数 五十七頭
- 五、競走数 二十四レース
- 六、入場者数 三、〇〇〇名
- 七、本会副賞受賞馬 タツゴロウ  
重半 雄二才
- 八、馬主 室蘭市 (株)福岡組
- 九、明年度開催の予定 七月下旬
- 〇栗山夏祭共賛会
- 一、主催 栗山町競馬同志会  
会長 鶴川 恵一
- 二、開催日 七月二十三日



- 三、場所 栗山町観光センター前広場
- 四、出走頭数 三十八頭
- 五、競走数 十七レース
- 六、入場者数 三〇〇名
- 七、本会副賞受賞馬 タケオーザン  
ペル系 雄六才
- 八、馬主 栗山町 石田幸夫
- 九、明年度開催の予定 七月下旬
- 〇佐呂間神社祭典記念競馬競技大会
- 一、主催 佐呂間町畜産振興会  
会長 栄 元治
- 二、開催日 九月二十六日
- 三、場所 佐呂間町農協畜産センター
- 四、出走頭数 六十八頭
- 五、競走数 三十レース
- 六、入場者数 九〇〇名
- 七、本会副賞受賞馬 サロマイチ  
半血 雄二才
- 八、馬主 佐呂間町 窪内久義
- 九、明年度開催の予定 九月二十六日
- 〇伊達競馬競技大会
- 一、主催 伊達市馬産改良同志会  
会長 加茂 実
- 二、開催日 六月二十六日
- 三、場所 黄金町近江家具前広場
- 四、出走頭数 九十七頭
- 五、競走数 二十四レース
- 六、入場者数 八二〇名
- 七、本会副賞受賞馬 タカノホープ  
ペル 雄二才
- 八、馬主 厚沢部町 高野正
- 九、明年度開催の予定 六月中旬

○恵庭市馬事競技大会

一、主催 蘭越町家畜商業協同組合

組合長 佐野 三郎

二、開催日 八月二十八日

三、場所 蘭越町豊国橋上流尻別川敷地

四、出走頭数 三十八頭

五、競走数 二十一レース

六、入場者数 六〇〇名

七、本会副賞受賞馬 達 五郎

半血 雄二才

八、馬主 蘭越町 福岡義光



九、明年度開催の予定 八月二十六日

○早来町鞍馬競技大会

一、主催 早来町鞍馬競走同好会

会長 橋本 善吉

二、開催日 九月十八日

三、場所 早来町字新栄共進会場

四、出走頭数 六十七頭

五、競走数 二十九レース

六、入場者数 二、〇〇〇名

七、本会副賞受賞馬 マルゼンレコード

半血 雄八才

八、馬主 苫前町 三住畜産

九、明年度開催の予定 九月中旬

○浜中町畜霊祭

一、主催 浜中町畜霊祭典実行委員会

委員長 中山 真

二、開催日 十月一日

三、場所 浜中町字浜中市街

四、出走頭数 八十頭

五、競走数 二十七レース

六、入場者数 八〇〇名

七、本会副賞受賞馬 ヒメザクラ

半血 雌二才

八、馬主 浜中町 扇 俊治

九、明年度開催の予定 十月七日

○東土幌神社秋季祭典

一、主催 音更町東土幌ばんえい競馬会

会長 田宮 一夫

二、開催日 九月二日

三、場所 音更町東土幌神社特設競馬場

四、出走頭数 五十二頭

五、競走数 二十二レース

六、入場者数 二、〇〇〇名

七、本会副賞受賞馬 マツノリユ

雄五才

八、馬主 阿寒町 長村豊司

九、明年度開催の予定 九月二日

○根室市馬事競技大会

一、主催 根室市馬事振興会

会長 矢部 博之

二、開催日 九月十八日

三、場所 根室市馬事公園

四、出走頭数 八十八頭

五、競走数 二十二レース

六、入場者数 三、〇〇〇名

七、本会副賞受賞馬 カツホマレ

雌八才

八、馬主 上土幌町 渋谷克雄

九、明年度開催の予定 九月十六日

○本別町鞍馬競技大会

一、主催 本別町馬事振興会

会長 山口 悟

二、開催日 九月十九日

三、場所 本別町農協品評会会場

四、出走頭数 五十九頭



五、競走数 三十二レース

六、入場者数 五〇〇名

七、本会副賞受賞馬 エイヒメ

半血 雌三才

八、馬主 本別町 久常修

九、明年度開催の予定 九月十九日



昭和58年度

北海道市営競馬協議会馬産奨励事業奨励者名簿

交付者氏名	生産者奨励		
	住 所	馬 名	血 統 名
加藤 長三郎	足寄郡足寄町平和	ハヤカゼ	明 清
石沢 清一	〃 〃 川向	ホダカマル	映 豊
吉田 利夫	〃 〃 ラワン高台	チカラハヤブサ	春 風
〃	〃 〃 〃	キンリキ	宝 星
宮川 貞夫	〃 〃 昭和	エンゼルクイン	昌 子
川上 米吉	〃 〃 中足寄	タカラシングキ	隼 第 一
大山口 勝彦	〃 〃 共励	ダイセンブー	新 月
石井 清保	〃 〃 中大誉地	ナイトエース	清 春
三原 幸雄	〃 〃 上ワシップ	ミネカセホーズ	幸 姫
川田 徳治	〃 〃 中足寄	カツリユウ	大 洋
高橋 敏	〃 〃 上ワシップ	キタノパール	大 竜
〃	〃 〃 〃	ギョクシュン	玉 駿
石井 寅一	〃 〃 ラワン高台	ヤマトヒカリ	旭 星
沼田 勉	〃 〃 〃	ヤマトタイショオ	栄 山
山口 英夫	〃 〃 中塩幌	キタノセキト	宝 烈
高坂 重利	〃 〃 ラワン高台	ダイリンエース	勇
石井 昌雄	〃 〃 〃	ハクヒカリ	博 進
只野 幸一	〃 〃 上足寄	キクノハヤブサ	栄 勝
佐々木 政美	〃 〃 稲牛	タマリユウ	嘉 勝
上田 健一	中川郡池田町字青山	ケンリュウ	旭 駒
〃	〃 〃 〃	ソラチテンリュウ	円 星
坂本 正徳	〃 〃 字清見	アサヒキロク	真 竜
川添 清	〃 〃 字利別	チヨダトップ	勝 誉
〃	〃 〃	クリテンリュウ	清 誉
北村 治嘉	〃 〃 字清見	マサノサト	竜 明
飯田 貢	河東郡鹿追町笹川14線11	カスガ	北 星
川向 義信	中川郡豊頃町牛首別	マサライデン	吹 雪
松崎 和身	〃 〃 〃	ツキムサシ	天 宝
脇坂 栄次郎	〃 〃 〃	キンシルバー	宝 山
観野 敏	〃 〃 久保	タカラマル	富 士 姫
木幡 勇	〃 〃 牛石神	カザミドリ	姫 宝
〃	〃 〃 〃	ミネカセ	初 宝

交 付 者 氏 名	生 産 者 奨 励		
	住 所	馬 名	血 統 名
木 幡 勇	中川郡豊頃町牛石神	ク ニ ヒ メ	初 姫
門 寿 雄	〃 〃 仁徳	タマカワオーザ	十 勝 姫
〃	〃 〃 〃	ステンドグラス	宝 直
〃	〃 〃 〃	ヨシウメオー	宝 星
〃	〃 〃 〃	タカラショウホウ	宝 姫
松 井 茂 義	〃 〃 牛首別	ナカフマツカゼ	藤 桜
桜 沢 満	〃 〃 板東	ア ラ ワ カ	克 波
福 原 貫 一	〃 〃 湧洞	トカチキング	光
原 隆 良	〃 〃 石神	デワタカラ	栗 宝
船 越 栄 太郎	〃 〃 保栄	タカラチェリー	第 三 松 風
森 崎 友 己	〃 〃 小川	タカラスピード	宝 山
野 原 博	〃 〃 統内	トカチオーザ	大 勝
佐 藤 義 明	〃 〃 石神	カサマトップ	宝 山
青 田 末 治	〃 〃 大川	モイワハンター (旧ヒサダ)	鉄 清
梶 己之助	〃 〃 長節	アズサツウショー	宝 丸
中 原 昭 吉	〃 〃 北誉	タカラテンセイ	巻 宝
永 原 松 太郎	〃 〃 北星	タカハヤテ	十 勝 富 士
早 川 正 一	〃 〃 幌岡	カチテンリウ	栗 雄
青 木 茂	〃 〃 板東	ト ワ ダ	宝 玉
袖 原 芳 衛	広尾郡大樹町字尾田679	アイズキリン	春 駒
下 村 竹 夫	〃 〃 生花181	エビスタイカン	水 星
秋 山 優	十勝郡浦幌町吉野	タカラタイトル	宝 富 士
佐 藤 重 夫	〃 〃 貴老路	アイアンチェス	庵 勝
〃	〃 〃 〃	ニシキトップ	重 ロ ッ シ ー
小 枝 重 市	〃 〃 共栄	ヤマトタイガー	飛 竜
小 枝 義 充	〃 〃 幾千世	キタタケル	幾 充
坂 口 岩 夫	〃 〃 〃	タカラトップ	敵 進
広 田 茂	〃 〃 相川	ミサワキング	梅 桂
福 士 元 衛	河東郡音更町東旭	ク ロ タ カ	第 二 福 宝
才 野 豊 吉	〃 〃 東音更幹線62	サラベツトップ	織 豊
中 川 郁 夫	〃 〃 逢来北3条5丁目2	ツガルハヤブサ	村 宝
安 海 吉 雄	〃 〃 大通6丁目2番地	ホ ウ ゲ ツ	鵬 月
今 野 薫	中川郡本別町押帯404-3	ケ ン エ イ	満
糸 田 幸 利	〃 〃 勇足東3区	タカラギンゲツ	鉄 鯉 駒
新 津 繁	〃 〃 清里	アサヒカップ	善 栄
荒 哲 郎	〃 〃 美里別東中	アサヒショウリ	昭 光
本 寺 菊 雄	〃 〃 木札内	ヨ シ ノ マ ル	広 菊

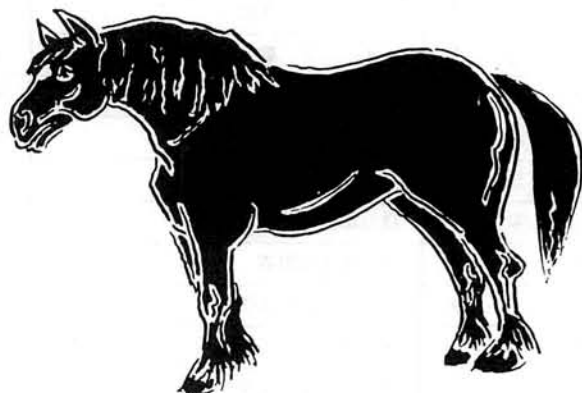


交 付 者 氏 名	生 産 者 奨 励		
	住 所	馬 名	血 統 名
鈴 木 義 尚	河東郡上士幌町上音更	ベニタイガー	大 雪
渡 武 夫	〃 〃 上士幌	モリノダイオー	福 雄
渋 谷 克 雄	〃 〃 〃	オデオニセイ	オデオニ二世
舟 根 吉 晴	〃 〃 〃	クリホマレ	桜 春
村 上 ヨ シ ノ	〃 〃 〃	ヤマヒカリ	小 鉄
梅 本 富 雄	帯広市東2条南23丁目7番地	タカラサカエ	第 二 宝
深 川 繁 信	上川郡新得町屈足柏町2-18	マルトクイン	竹 姫
清 野 要 之 進	河東郡士幌町士幌2線167	タカラフウセキ	栄 楓
早 坂 勇 一	広屋郡忠類村字幌内72	ツベツコマ	第 二 初 昇
三 好 真 須 雄	中川郡幕別町猿別	パブリックホース	真 影
山 田 由 太 郎	〃 〃 新川	マサショウリ	第 三 義 優
山 端 鉄 郎	〃 〃 相川	ダイナミックエース	鉄 豊
松 浦 求	〃 〃 〃 〃	カツラショーリ	報 松
宮 本 喜 五 郎	〃 〃 〃 豊岡	ゴットホマレ	宮 栄
助 川 重 忠	〃 〃 新和	ワカキリン	久 忠
佐 藤 勝 次	〃 〃 〃	ミホテンザン	豊 旭
黒 島 健	〃 〃 相川	サンシャイン	健 都
平 井 利 雄	〃 〃 新川	タケタマヒメ	富 姫
佐 藤 勇 之 助	網走市字能取	ヤマトショウリ	安 山
藤 原 良	〃 越歳	ハヤフブキ	豊 勇
豊 田 正 義	紋別郡雄武町漁田	オオムシンザン	二 世 楓 朝
鈴 木 由 雄	〃 〃 曙	ブラックスキー	第 十 タ ン プ
宮 島 要 助	〃 〃 中幌内	トキノカゲ	栄 桜
細 井 義 雄	〃 滝上町1区	フジトップヒメ	富 士 燕
出 村 実	〃 〃 滝見	キタサワ	富 士 菊
有 馬 文 三	紋別市渚滑町川向	ストロング	嵐 朝
長 谷 部 晴 治	常呂郡佐呂間町朝日	タケテンリュウ	武 蔵 一 世
長 谷 部 勲 一	〃 〃 〃	フジナミ	ロ ッ シ ー ニ 三 世
金 子 周 一	〃 〃 苦里	ムサシローズ	金 姫
千 葉 四 郎	〃 〃 北	アンテンリュウ	第 二 ア カ ツ キ
柴 田 秀 雄	〃 〃 仁倉	トヨキク	第 一 イ ド ロ
須 佐 弘 明	〃 〃 知来	アサヒマル	旭 若
伊 丹 勝 敏	〃 〃 仁倉	ハクムサシ	強 進
笹 島 清	江別市野幌若松町12-29	キンタイコー	錦 楓
仲 良 一	紋別郡上湧別町字中湧別南町	ヤマトユウシン	初 駒
中 原 久 雄	常呂郡留辺蘂町瑞穂	ホクエマル	千 代 の 富 士
仙 野 将 栄	紋別郡遠軽町瀬戸瀬湯の里	フジノヤマ	楓 勝

交 付 者 氏 名	生 産 者 奨 励		
	住 所	馬 名	血 統 名
岸 波 重 男	紋別郡遠軽町千代田	キタノスキー	嶺 豊
小野寺 弘	常呂郡訓子府町高園	シケノダンサ (旧ジャッキー)	宝 準
森 田 久 良	北見市常川	パンヒロミ	常 花
藤 原 良 勝	〃 仁頃町574	ネムロコマ	藤 潮
八木沼 義 雄	〃 大正637	コウザン	幸 山
白 岡 光 広	〃 北陽606・3	キタノダイリキ	大 正
長谷川 清	〃 仁頃町163-5	シラカバオー	輓 清
阿 部 利 雄	〃 川東703	マサヨシ	東 光
山 内 四 郎	網走郡女満別町豊里	ヤマシロウ	黄 金 盛
高 橋 貞 雄	常呂郡常呂町富丘264	ゴールデンスター	不 如 帰
松 原 豊	〃 〃 岐阜	キンオートリ	豊 月
〃	〃 〃 〃	タカヤマ	豊 風
原 輝 正	斜里郡斜里町美咲	ハクタカラ	宝 竜
押 切 清 吉	釧路市新野7-154	ヤワラ	第 一 ボ ル ー ル
川 原 義 信	〃 武佐3-33	クシロハクリユウ	菅 桜
大久保 芳 信	〃 古川町47	キクノタイカン	芳 陽
山 根 正 勝	〃 鶴野58	ダイイチエース	釧 路 宝
菊 原 亀 松	白糖郡音別町市街	ジャパントップ	翔 菊
箱 崎 清	〃 〃 直別	ブラックスナイパー	魂 緑
松 井 紀 行	阿寒郡鶴居村中幌呂	ゴールドリバー	鶴 宝
瀬 川 鶴 雄	〃 〃	イデキング	司
伊 藤 信 義	川上郡弟子屈町南弟子屈	キンタカラ	翔 駿
千 葉 安 夫	〃 標茶町上御卒別	ムサシヤマ	仙 雪
渡 辺 三 郎	〃 弟子屈町原野	キタノビクトリー	摩 周 新 山
加 藤 崇	〃 〃 下鎚別	シャリイチ	二 世 輝 栄
奥 村 辰 男	〃 〃 原野3	モリヒカリ	王 奥 花
佐 藤 久 一	川上郡標茶町阿歴内	ハイセイハ	二 世 ボ ル ー ル
古 川 俊 宣	〃 〃 〃	オオノホマレ	北 ロ ッ シ ー ニ
峰 谷 国 憲	〃 〃 〃	フジザクラ	富 士 錦
亀 井 和 子	厚岸郡浜中町市街	ユウハ	大 剛
江 崎 一 郎	白糖郡白糖町新興	ノポリリュウ	宝 山
〃	〃 〃 〃	アマノカイリキ	栄 勝
大 井 勇	〃 〃 東茶路	ユウツル	疾 風
〃	〃 〃 〃	レットジュエル	大 善
中屋敷 長 治	〃 〃 下茶路	オカノボーイ	多 和
腰 越 八 郎	〃 〃 相互	カツトップ	銅 光
稲 川 大 治	〃 〃 西1北8	キョクユウ	第 一 朝 日

交 付 者 氏 名	生 産 者 奨 励		
	住 所	馬 名	血 統 名
松 野 助 夫	白糖郡白糖町新興	エゾタカラ	興 久
木 村 荘 司	標津郡標津町字茶支骨	ナナカマド	春 勇
榎 木 慶 矩	〃 〃 字川北	ダイニシンザン	第 二 金 竜
佐々木 トシ子	野付郡別海町宮舞9	ジャンデリユウ	盛 崔
上 杉 義 晴	〃 〃 別海121-5	キタノセイケン	竜 管
〃	〃 〃 〃	ハルノポリ	清 宝
大 道 実	〃 〃 新栄9	バロンハヤブサ	根 室 準
細 川 幸 雄	虻田郡虻田町字月浦	マルモグット	第 一 英 雄
遊 佐 喜 一	〃 〃 花和	カイショウリ	西 誉
立 谷 貢	〃 〃 泉226	ニシキマル	第 一 金 丸
金 野 佐 助	伊達市北黄金町105	ヤマトキング	初 駒
清 野 アヤ子	〃 〃 93	ナナエウルフ	第 一 世 ト ラ ベ
矢 野 忠 良	〃 中稀府町83-9	ツガルアラシ	第 三 梅
大 西 亀 雄	虻田郡洞爺村字大原	トーヨーニシキ (旧ユガワニシキ)	大 求
菊 地 博	〃 〃 成香	マルキテンリュウ	月 光 姫
四 宮 浩	〃 〃 香川	ミスムロラン	清 姫
奥 浜 盛 雄	勇払郡追分町弥生	タツニシキ	富 士 姫
勝 木 豊	虻田郡豊浦町桜	ミスカチキ	夕 姫
星 野 勝 義	登別市常盤町6丁目8-1	ネムロムサシ (旧カミフムサシ)	勝 鯉
酒 井 秀 克	勇払郡早来町緑丘	ミネノランサー	姫
〃	〃 〃 〃	キンセイヒメ	緑 姫
〃	〃 〃 〃	ムツノロング	克 波
平 野 儀 雄	〃 〃 北進	マルトテンユウ	勝 宝
中 島 忠 良	〃 穂別町平丘	カ ム イ	春 風
清 藤 勇 一	茅部郡砂原町字彦潤121	サワラエース	成 駒
関 村 清	新冠郡新冠町泉	サカエランサー	栄
〃	〃 〃	ロングサカエ	栄 強
松 本 清 志	〃 〃 苦園	ホッカイオーザ	新 冠 誉
吉 田 通 弘	〃 〃 朝日	タカラオーカン	宝 冠
高 橋 広	沙流郡日高町千栄365	タケホース	第 一 大 和
川 越 留 市	〃 平取町貫気別	タニノトップレディ	平 乃 花
下 川 五 郎	〃 〃 池売	ハヤテコマ	桜 宝
神 山 幸 雄	様似郡様似町西様似	ドウナンコマ	勇 光
石 田 正	夕張郡栗山町森	ユ チ オ ウ	栄 雄
片 山 光 夫	〃 長沼町市街地	アカネプリンス	優 富 士
谷 美 喜 男	深川市多度志町下野内	マルトセンショー	朝 風
道 下 淡 三	雨竜郡北竜町美葉牛	トチハヤテ	栄 勇

交 付 者 氏 名	生 産 者 奨 励		
	住 所	馬 名	血 統 名
松 田 昇	夕張市清水沢宮前町	イ ケ ズ キ	生 駒
石 井 勇	上川郡剣淵町5区	フ ァ ス ト ダ イ ヤ	青 勇
吉 田 吉 太 郎	士別市多寄町35線東10号	ミ ス エ イ シ ョ ウ	真 利
宍 戸 寛	〃 南土別町	マ サ キ	二世ポニーファーサー
小 林 長 太 郎	上川郡下川町字北町	フ ジ ト ッ プ ニ セ イ	第 二 富 士
熊 崎 源 太 郎	勇弘郡占冠村字下双珠別	シ メ カ ッ プ ス タ ー	第 一 光
松 本 信 一	中川郡美深町字美深217	カ ツ ヒ メ	豊 姫
南 富 良 野 農 協	空知郡南富良野町幾寅979	イ ク ホ マ レ	コロネルコレットボーイ
〃	〃 〃 〃	イ ク サ ク ラ	ラオーカナダボーイ
嶋 田 孝 四 郎	富良野市山部町東20線21	シ マ ノ カ チ ク リ	勝 栗
浜 田 北 子	天塩郡天塩町更岸基線	シ ゲ ノ ダ イ ヤ	豊 烈
久 本 茂 太 郎	虻田郡真狩村川崎	ア キ タ オ ー ザ	玉 勇
福 井 安 徳	〃 倶知安町岩尾別	ス ズ ワ カ	萬 竜
久 蔵 栄	寿都郡寿都町政治	ミ チ ノ ク	詠 勇
合 田 守	虻田郡留寿郡村三豊	カ ネ シ ン ザ ン	北 之 錦
庄 司 政 司	稚内市萩見5丁目8番地	シ ゲ ノ ト ッ プ	大 勇
墨 谷 春 雄	〃 樺岡	ユ ウ フ ク ザ ン	優 福
東 原 勇	〃 はまなす1丁目	タ マ イ サ ム	玉 勇
村 瀬 惣 重 郎	瀬棚郡今金町字八東176	オ ッ ペ ジ ニ シ キ	第 三 世 藤
井 村 盛	〃 北桧山町兜野	リ キ ン ド ウ (旧キタノカツヒサ)	北 勝 久
黒 滝 和 男	茅部郡森町駒ヶ岳584	コ マ チ カ ラ	駒 勇
吉 田 国 雄	〃 〃 〃 131	ス ー パ ー エ レ ッ ク	第 一 勝 桜
勝 木 豊	虻田郡豊浦町桜	ヤ マ ト ボ ー イ	第 二 美 行
喜 井 茂	広尾郡忠類村中当	ア キ タ コ マ	五 月



競走経歴種雄馬管理者奨励金交付者

交付者氏名	競走経歴種雄馬管理者奨励		
	住 所	種 雄 馬 名	出 走 馬 名
豊 頃 町 農 協	中川郡豊頃町中央若葉町12番地	タカ <sup>ラ</sup> コ <sup>マ</sup> (家宝)	アズサツウショー 他9頭
只 野 幸 一	足寄郡足寄町上足寄	タカラハヤブサ	エンゼルクイン 他6頭
高 畑 静 男	有珠郡壮督町字立香	カイ <sup>ジ</sup> ン (玲泉)	カイシヨウ 他4頭
千 貝 義 雄	稚内市緑1丁目1番	シゲ <sup>ノ</sup> ハラ (太陽)	キンオートリ 他4頭
〃	〃 〃 〃	ダイニアンテン	アンテンリュウ
虻 田 町 農 協	虻田郡虻田町旭町30-3	カ <sup>ネ</sup> マ <sup>ル</sup> (第二ベルヴォン)	カネシンザン 他3頭
池 和 夫	紋別郡滝上町字幸	フジトツブ	キタ <sup>サ</sup> ワ 他3頭
三 浦 勇	常呂郡佐呂間町	ム <sup>サ</sup> シ (琴宝)	タケテンリュウ・ハク ムサシ・ムサシローズ
森 力 蔵	中川郡豊頃町茂岩	アラ <sup>ナ</sup> ミ (春風)	アラワカダ トワ
成 田 功	伊達市船岡町	スピードキング (鉄栄)	カミフムサン マトキシ
北 村 正 義	中川郡池田町清見	ダイリュウ	マサノキサン トグ
多 村 一 見	勇払郡穂別町稲里	トカチハヤテ (初鯉)	ハユチコ マウ
白 瀬 包	石狩郡石狩町大字花畔	バン <sup>ユウ</sup> ハ (栄勝)	イタケズ ニシキ
端 正 行	川上郡弟子屈町鎗別	イシノシンボル (仙山)	ムサシヤマ
三 上 秀 雄	勇払郡穂別町	キタノチカラ	カムイ
上 杉 義 晴	野付郡別海町121-5	キヨ <sup>モ</sup> リ (第一力)	ハルノボリ
小 松 田 繁	富良野市朝日町9号	コマタカラ	シメカップスター
本 寺 菊 雄	中川郡本別町木札内	トカチマル (正更)	ヨシノマル
高 橋 俊 雄	虻田郡虻田町入江170-20	ヒタ <sup>チ</sup> オー (第二ロッシェニ)	ユガワニシキ
佐 藤 弘	広尾郡大樹町字大光	バンコマ	アイズキリン
佐 藤 守 蔵	上川郡剣淵町3区	ファストヒヤク (剛雄)	ファストグイヤ
寺 岡 勝 雄	稚内市港町	マジン <sup>ホ</sup> フ (春風)	ユウフクザン
安 瀬 輝 男	川上郡標茶町南標茶	ヤマトサカエ (室勇)	ミネカセ
山 根 義 勝	釧路市鳥取大通9	ラク <sup>シ</sup> ョウ (緑清)	ダイイチエース
山 口 智 治	岩内郡共和町リカムナイ	ワカソラチ	スズワカ
内 藤 善 弘	磯谷郡蘭越町目名	ウルバンキング (第一詠進)	ミチノク
中 村 米 良	中川郡池田町千代田	バートハウショウ	ソラチテンリュウ
大 道 実	野付郡別海町別海新栄町9	ハヤブサ	バロンハヤブサ



競走経歴繁殖雌馬奨励金交付者

交付者氏名	競走経歴繁殖雌馬奨励		
	住 所	繁殖雌馬名	出走馬名
坂 本 正 徳	中川郡池田町清見	ハ ル ノ ブ	アサヒキロク
松 本 信 一	中川郡美深町	サ フ ラ ホ マ レ (詠豊)	カ ツ ヒ メ
山 根 義 勝	釧路市鶴野58	グ イ ニ ヒ メ タ カ ラ (北春)	グ イ イ チ エ ー ス
大 道 実	野付郡別海町別海新栄9	ネ ム ロ ク イ ー ン (クイン姫)	パ ロ ン ハ ヤ ブ サ
酒 井 秀 克	勇払郡早来町緑丘	カ エ デ ヒ メ (錦勝)	ミ ネ ラ ン サ ー
〃	〃 〃	ヒ デ ナ ミ (秀波)	ム ツ ノ ロ ン グ
仲 良 一	紋別郡上湧別町中湧別南町	エ ン ゼ ル (宝駒)	ヤ マ ト ユ ウ シ ン

# 報 償 費

## 1. 馬主に関するもの

- (1) 賞金 競馬番組で示した金額。  
 (2) 出走手当 次に該当する馬の馬主に対し支給する。  
 (ア) 競走に1回以上出走したとき。  
 (イ) 特別報償金の受給資格のあるとき。

出走手当	45,000円
------	---------

- (3) 着外手当 競走に出走し6着以下の馬の馬主に対し、次の区分により支給する。ただし、失格及び競走中止の場合は支給しない。

重賞競走	1着賞金 300万円以上	100,000円
	1着賞金 300万円未満	40,000円
特別競走		25,000円

- (4) 特別報償金 次に該当する馬の馬主に対し支給する。  
 (ア) 出走投票の結果1競走の出走の出走頭数が6頭以下のため競走が取り止めになったとき。又は、制限頭数を越えたため抽選により出走できなくなったときとし、当該開催競馬において同一馬につき1回とする。ただし、当該開催の競走に出走した馬を除く。  
 (イ) 競走除外等で同枠のため除外(友引)になったとき。  
 (ウ) 天災その他やむを得ない理由により開催当日に、競馬又は競走を取り止めたとき。

(ア)のとき	その競走の5着賞金、ただし30,000円を限度とする。(調教奨励金、騎乗奨励金、きゅう務奨励金においてもこれに準ずる。)
(イ)のとき	その競走の3着賞金(調教奨励金、騎乗奨励金、きゅう務奨励金においてもこれに準ずる。)
(ウ)のとき	その競走の賞金と着外手当の合計額を出走頭数で按分した範囲の額。(調教奨励金、騎乗奨励金、きゅう務奨励金においてもこれに準ずる。)

- (5) 輸送手当 競馬場毎に1回以上出走した馬(特別報償金受給資格を有した馬を含む)の馬主に対し当該競馬場毎に支給する。

輸送手当	12,000円
------	---------

## 2. 騎手に関するもの

### (1) 調教奨励金

競走に出走した馬の調教騎手に対して支給する。ただし、当該競走において戒告以上の処分を受けたときは支給しない。

条例第102条

〇〇市地方競馬実施〇〇規則第99条の

規定により調教業務の委託を受けた調教騎手に対し、当該競走にかかわる調教奨励金を支給する。

1着	2着	3着	4着以下
27,000円	23,000円	18,000円	13,500円

### (2) 騎乗奨励金

競走に出走した馬の騎乗騎手に対して支給する。ただし、当該競走において戒告以上の処分を受けたときは支給しない。

1着	2着	3着	4着以下
18,000円	14,000円	12,000円	9,500円

## 3. きゅう務員に関するもの

### (1) きゅう務奨励金

出馬確定した馬のきゅう務員に対して支給する。ただし、当該競走において戒告以上の処分を受けたときは支給しない。また、管理頭数は4頭を限度とする。

1着	2着	3着	4着以下
17,000円	13,000円	11,000円	8,500円

## 4. 生産者に関するもの

### (1) 生産者賞

(1) 騎手重量 騎手重量は75kgとする。

(2) ばんえい重量

ア 3才馬

ばんえい重量は500kgとし本年取得賞金60万円につき10kgの加増を行なう。

なお、ばんえい重量は9月1日から510kg、11月3日から520kgとし本年取得賞金60万円につき10kgの加増を行なう。

イ 4・5才馬

3才時より通算取得賞金により、次に掲げるばんえい重量とする。

ただし、120万円未満のクラスについては9月1日から210万円未満のクラスに編入する。

取得賞金	600万円未満	420万円未満	310万円未満	210万円未満	120万円未満
ばんえい重量	640kg	620kg	600kg	580kg	560kg

ウ 4才以上

昭和56年以降の取得賞金により、次に掲げるばんえい重量とする。

ただし、4・5才馬で編入する馬は、同額賞金クラスに編入し競走において10kgを減量する。

取得賞金	1,450万円以上	1,450万円未満	1,150万円未満	900万円未満	750万円未満	600万円未満	450万円未満	300万円未満
ばんえい重量	700kg	700kg	680kg	660kg	640kg	620kg	600kg	600kg

エ オープン馬

昭和56年以降の取得賞金1,450万円以上の馬をオープンとする。

(3) 3才及び4才馬の騙馬は競走において10kg減量する。

(4) 3才及び4才の雌馬は競走において20kg減量とし、5才以上の雌馬は10kg減量とする。

(5) 普通競走において全馬のばんえい重量が高重量となるときは、全馬の重量を一率に減ずることができる。

(6) 普通及び別定競走において委員長の指定する騎乗騎手は、通算勝利度数により10kg減量する。

## 6. 騎乗の制限及び減量騎乗騎手の取扱いについて

(1) 騎乗騎手の1日の騎乗回数は6回までとし、連続騎乗できる回数は3回を限度とする。ただし、委員長が特に認めた場合はこの限りでない。

(2) 騎乗を変更した騎乗騎手は、翌日の騎乗を認めない。ただし、委員長が特に認めた場合はこの限りでない。

(3) 委員長が指定する減量騎乗騎手は、数え年30才以下の騎乗騎手で通算勝利度数25勝未満の者とする。ただし、減量騎乗騎手扱いで、すでに出走投票された競走については25勝以上となっても減量騎乗騎手と同様の扱いとする。なお、出馬表には△印で表示する。

## 7. 昭和58年度以降に新馬登録した雌馬の取扱いについて

昭和58年度以降に新馬登録した雌馬については7才までばんえい重量を20kg減量し、雌馬のみで編成した競走の取得賞金は2分の1とする。なお、8才以降は優遇措置をしない。

8. この要領に定めるものの他、番組編成上必要な事項については、番組編成会議で別に定める。

# 昭和59年度 番組編成要領

## 番組編成

### 1. 出走馬の資格

次の各号全部の条件をそなえていること。

- (1) 地方競馬全国協会の登録を受けた馬
- (2) 軽種及び軽半血種以外の馬
- (3) 日本国内で生産された馬
- (4) 新馬 3才  
古馬 10才以下
- (5) 馬体重 3才 700kg } 以上の馬  
4才以上 750kg }
- (6) 馬体検査、能力調教検査に合格した馬（他競馬場において合格した馬を含む）

### 2. 出走の拒否

- (1) こ疾の程度が重く、又は外観上みにくい馬。
- (2) 出馬取消をした馬及び競走除外馬（同枠除外を除く）は、その開催の残余期間。
- (3) 尋常てい鉄を使用しない馬。
- (4) 調教が十分でない癖馬及び失明馬（片眼馬を含む）。

### 3. 出走頭数の制限及び競走の取り止め

- (1) 1競走における出走頭数は、10頭以下とする。
- (2) 普通競走において、前項に定める頭数を超えて出走投票があった場合は、抽選により出走馬を決定する。
- (3) 前項により出走できなかった馬は、競馬番組で示す当該馬が出馬できる最初の競走に限り出走投票した馬に優先出走を認める。
- (4) 出走投票の結果、1競走の頭数が6頭以下の場合は、その競走を取り止め新たに競走を設けることができる。ただし、偶発的事故、疾病等により出走を取り消し又は、競走除外を命じた場合を除く。

### 4. 競走の区別

取得賞金額（1着～5着まで以下同じ）により編成し年令別に次のとおりとする。なお、取得賞金は特に記載のない限り前回までの合計とする。ただし、3才及び4才の雌馬のみで編成した競走の取得賞金は2分の1とする。

3才 3才馬のみの編成とする。

4・5才 4・5才馬の混合編成とし、通算取得賞金600万円以上の馬は、4才以上の競走に編入する。

4才以上 4才以上の混合編成とする。

### 5. 負担重量

# 昭和58年度リーディング



リーディングトレーナー

順位	氏名
1	中条 照 男
2	松 井 浩
3	谷 内 二三松
4	大 友 栄 司
5	林 正 男



リーディングジョッキー

順位	氏名
1	工 藤 正 男
2	金 山 明 彦
3	木 村 卓 司
4	久 田 守
5	西 弘 美

# 昭和58年度種雄馬ランキング

3 才

順位	種 類	馬 名	頭数	勝数	取得賞金(円)	お も な 出 走 馬
1	ペ ル 血	二 世 ロ ッ シ ー ニ	20	40	35,689,000	サクラリュウ、トカチヤマ、アトランター
2	半	タ カ ラ コ マ	19	39	28,316,000	タカラフジ、タカラメイケツ、キンザンパレード
3	ペ ル ジ	マルゼンストロングホース	16	35	25,568,000	タニノヒメリュウ、ホウエイヒメ、シントップ
4	ペ ル ジ	ジアンデュマレイ	21	35	24,856,000	センショウリ、カミチカオウ、フジマル
5	ペ ル ル	ポ ル ー	11	21	18,515,000	トキノオーカン、ハツヒカリ、ダイスーパーエース
6	ペ ル 血	楓 朝	9	25	18,051,000	セイフウ、カズミノル
7	半	タ カ ラ ハ ヤ ブ サ	6	13	12,345,000	ゼンシン、モコトウンリュウ
8	半	富 士	3	9	11,480,000	ヒカルタイショオ、ダイヒットエース
9	ペ ル 血	第 二 オ デ オ	11	14	10,471,500	ツカサトップ、スピードパワー
10	半	テ ツ リ ユ	7	15	10,332,000	ミスチドリ、キョウトップ
11	ペ ル 系	ダ イ チ カ ツ エ	3	9	9,103,000	ヤマキクハナ、カセツ
12	半	タ ケ コ	2	8	5,001,000	キソクヒメ、タケコマニセイ
13	ペ ル 血	ム サ シ	4	8	4,772,000	ヒカルムサシ
14	ペ ル 系	オ ホ ツ	5	8	4,632,000	トウショウ、サンマルサン
15	ペ ル 系	オ タ ツ マ キ	3	6	3,908,000	タツマキオーザ、ビックエース
16	ペ ル 系	バ ー ト ホ ー シ ョ	5	3	3,666,000	モイワシンザン
17	ペ ル ジ	コ ン エ レ ガ ン	2	7	3,611,000	カネミホース
18	ブ	メ ン ト 梅	2	3	3,607,000	タカラエイユウ
19	半	ロ ン	3	5	3,133,000	ハヤリキオー
20	ペ ル 血	ア プ レ ス	4	2	2,919,000	フジイサミ

4・5 才

順位	種 類	馬 名	頭数	勝数	取得賞金(円)	お も な 出 走 馬
1	半 血	タ カ ラ コ マ	37	66	70,678,000	タカラタイトル、タカラショウリ、シマノオーザ
2	ペ ル 血	二 世 ロ ッ シ ー ニ	21	56	44,039,000	トヨタカ、シゲノハラニセイ、キヨユキ
3	ペ ル ジ	ジアンデュマレイ	24	47	33,066,000	ジャンデリユウ、ケンリュウ、ベルヨシエ
4	ペ ル ジ	マルゼンストロングホース	17	30	27,693,500	ロイヤルホース、マルトクイン、キンセイヒメ
5	ペ ル ル	楓 朝	12	23	20,818,000	ホマレエース、キンタイコー
6	ペ ル 血	第 二 オ デ オ	8	17	12,515,000	チカラオーザ、ヤシロショウショウ
7	ペ ル 血	久 都	10	13	11,921,000	ゴールデン
8	ペ ル ジ	コ ン エ レ ガ ン	6	9	10,223,000	アサヒテンリュウ
9	半	フ ジ ト プ	4	8	9,205,000	パワスキー
10	半	ダ イ ニ ア ン テ ン	6	11	8,747,000	ヤクモチカラ
11	半	銅 柑	6	16	7,499,000	テツセイコー
12	半	タ カ ラ ハ ヤ ブ サ	4	4	7,418,000	ハヤカゼ
13	半	バ カ ン ユ ハ	2	10	7,330,000	イケズキ
14	ペ ル 血	ポ ル ー	5	5	6,773,000	ヤワラ
15	ペ ル 系	オ シ ホ ー ツ	3	11	6,124,000	マルモキロク、マルモグット
16	半	シ ゲ ノ ハ	4	5	6,065,000	ゴールデンスター
17	ブ	ル ビ ン	4	8	4,427,000	ホダカマル
18	ペ ル 血	新 松	3	5	4,411,000	カネサカエ
19	ペ ル 血	ヒ タ チ オ	2	4	3,629,000	イワテタイガー
20	ペ ル 血	産 日	3	3	3,368,000	カゲオーザ

6 才以上

順位	種 類	馬 名	頭数	勝数	取得賞金(円)	お も な 出 走 馬
1	ペ ル 血	二 世 ロ ッ シ ー ニ	28	45	88,154,000	ハヤホマレ、キンタロー、ユウホウ
2	ペ ル 血	楓 朝	28	54	71,890,500	キタノフジ、キヨヒメ、キョウエイ
3	半	タ カ ラ コ マ	23	40	50,984,000	ヤマトウンリュウ、バンリュウ
4	ペ ル 血	ポ ル ー	11	23	27,703,000	ハイスピード
5	ペ ル ジ	ジアンデュマレイ	12	20	27,051,000	キョウリュウ、リュウハヤチ
6	ブ	鉄 鯉	7	14	16,897,000	ダイケツ、キヨタカラ
7	ペ ル ジ	マルゼンストロングホース	6	12	15,278,000	スターカップ、マルトカチヨシ
8	ペ ル 血	第 二 オ デ オ	4	8	14,360,500	カイリキ
9	半	産 日	5	15	12,260,000	カワアラシ
10	ブ	キ プ ロ	5	7	11,663,000	ハクマサヒカリ
11	ペ ル 血	キ ダ 久	4	7	9,660,500	キョクイチ
12	ペ ル 血	富 士	5	7	8,291,000	スイショウ
13	半	富 士	3	6	8,146,000	アイスリヤル
14	ペ ル 血	ヒ タ チ オ	5	5	8,130,000	ヤシタフジ
15	半	ヒ カ サ エ	4	5	8,085,000	ドラゴンダッシュ
16	ペ ル 血	第 三 オ デ オ	4	1	7,212,000	ソラチキリン、リュータロー
17	ブ	ボ 管	4	8	7,195,000	アサヒダケ
18	ペ ル 血	ア プ レ	1	3	6,675,000	イワイサミ
19	ペ ル 血	ア プ レ	3	8	6,439,000	ドウホクチドリ
20	ペ ル 血	宝 嘉	1	4	6,414,500	アキホーブ



## 昭和58年度賞金受賞ランキング

### 3 才

順位	競走馬名	父馬名	母馬名	性	年令	産地	生産者	取得賞金額 (円)
1	ヒカルタイショオ	半血 富士	半血 桜 武	雄	3	標 茶	堀 正雄	7,470,000
2	トカチヤマ	ベル二世ロッシーニ	半血 第二ブルタニュー	雄	3	常 呂	高橋貞雄	6,917,000
3	タカラフジ	半血 タカラコマ	ブル系 能 信	雄	3	豊 頃	川向義信	6,710,000
4	サクラリュウ	ベル二世ロッシーニ	半血 トコロクイーン	雄	3	常 呂	田淵一夫	6,085,000
5	ヤマキクハナ	ベル系 ダイイチカツエイ	半血 第七菊花	雌	3	白 糠	山崎 薫	5,385,000
6	ゼンシン	半血 タカラハヤブサ	半血 川 姫	雄	3	足 寄	須藤一美	5,165,000
7	トキノオーカン	ベル ボールール	ベル 白取	雄	3	白 糠	室内 稔	4,162,000
8	セイフウ	ベル 楓 朝	ベル 清 姫	雌	3	端 野	山内紀光	4,100,000
9	タニノヒメリュウ	ベルジ マルゼンストロングホース	半血 ミス大輪	雌	3	白 老	谷川恒夫	3,765,000
10	ハウエイヒメ	ベルジ マルゼンストロングホース	半血 遠軽四	雌	3	深 川	光富光次	3,759,500

### 4. 5才

順位	競走馬名	父馬名	母馬名	性	年令	産地	生産者	取得賞金額 (円)
1	トヨタカ	ベル二世ロッシーニ	ベル系 晏 勝	雄	5	音 更	安海吉雄	9,870,000
2	タカラタイトル	半血 タカラコマ	中血 ブル富士	雄	4	浦 幌	秋山 優	8,550,000
3	タカラショウリ	半血 タカラコマ	ベル 第十一玉姫	雄	5	池 田	野村弘信	7,545,000
4	ロイヤルホース	ベルジ マルゼンストロングホース	半血 呂博	雄	5	北 竜	道下羨三	7,210,000
5	シマノオーザ	半血 タカラコマ	ベル系 玉 姫	雄	5	富良野	嶋田孝四郎	6,970,000
6	パワスキー	ベル系 フジトップ	ベル系 勝 姫	雄	5	紋 別	近藤健一	6,375,000
7	イケズキ	半血 パンユウハ	ベル 初 春	雄	4	夕 張	松田 昇	6,170,000
8	ホマレーズ	ベル 楓 朝	半血 栄 姫	雌	5	遠 軽	岡崎八郎	5,492,000
9	キンタイコー	ベル 楓 朝	半血 日 光	雄	4	上湧別	笹島 清	5,382,000
10	アサヒテンリュウ	ベルジ コンエレガント	半血 第二旭秀	雄	5	釧 路	道下知敏	5,182,000

### 6才以上

順位	競走馬名	父馬名	母馬名	性	年令	産地	生産者	取得賞金額 (円)
1	キンタロー	ベル二世ロッシーニ	ベル系 宝 王	雄	7	別 海	糸川一郎	21,220,000
2	キタノフジ	ベル 楓 朝	半血 東 洋	雄	8	紋 別	藤枝勝行	16,180,000
3	ヤマトウンリュウ	半血 タカラコマ	中半 豊 花	雄	6	豊 頃	小沢義信	14,640,000
4	ハヤホマレ	ベル二世ロッシーニ	中半 初 姫	雄	9	網 走	川瀬芳雄	11,985,000
5	カイリキ	ベル 第二オデオン	重半 洋 国	雄	9	足 寄	水間松男	10,980,000
6	ハイスピード	ベル ボールール	半血 宝 花	雄	6	白 糠	藤田竹蔵	9,060,000
7	キヨヒメ	ベル 楓 朝	半血 豊 栄	雌	10	興 部	松島太市	8,150,000
8	ユウホウ	ベル二世ロッシーニ	中半 姫 桜	雄	10	藻 琴	本田剛太	8,010,000
9	キョウエイ	ベル 楓 朝	ベル系 宝 春	雄	10	紋 別	阿部良三	7,540,000
10	ヤマト	ベル二世ロッシーニ	半血 第二栄宝	雄	6	小清水	片平信淵	7,340,000

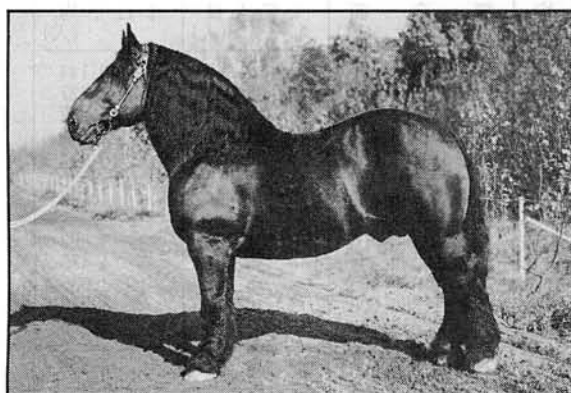
## 昭和58年度市営競馬成績

主催者	期別	売得金額 (円)	1日平均 (円)	賞金額 (円)	入場人員 (人)	1日平均 (人)
旭川市	1	1,362,407,000	227,067,833	59,994,000	32,863	6,144
	2	1,332,934,900	222,155,817	61,664,000	25,964	4,327
	3	932,788,300	155,464,717	72,962,000	19,394	3,232
	4	1,242,782,500	207,130,417	83,656,000	24,952	4,159
	5	1,200,541,600	200,090,267	81,262,000	20,483	3,414
	計	6,071,454,300	202,381,810	359,538,000	123,656	4,122
帯広市	1	1,111,880,800	185,313,467	50,156,000	21,376	3,563
	2	1,519,557,500	253,259,583	50,822,000	26,491	4,415
	3	966,130,900	161,021,817	51,866,000	18,212	3,035
	4	1,151,940,500	191,990,083	61,366,000	20,072	3,345
	5	1,353,195,400	225,532,567	52,626,000	20,280	3,380
	計	6,102,705,100	203,423,503	266,836,000	106,431	3,548
北見市	1	883,016,300	147,169,383	45,596,000	16,729	2,788
	2	964,542,800	160,757,133	42,610,000	15,079	2,618
	3	932,802,000	155,467,000	46,964,000	17,962	2,994
	4	1,091,782,800	181,963,800	46,392,000	15,752	2,625
	5	1,346,228,100	224,371,350	52,948,000	19,742	3,290
	計	5,218,372,000	173,945,733	234,510,000	85,264	2,842
岩見沢市	1	1,031,816,600	171,969,433	61,510,000	22,121	3,687
	2	1,146,916,800	191,152,800	58,812,000	19,501	3,250
	3	1,109,303,800	184,883,967	70,010,000	20,729	3,455
	4	1,209,850,600	201,641,767	68,210,000	23,809	3,968
	5	1,678,592,200	279,765,367	77,194,000	30,079	5,013
	計	6,176,480,000	205,882,667	335,736,000	116,239	3,875
合計		23,569,011,400	196,408,428	1,196,620,000	431,590	3,597

## 昭和58年度道営競馬成績

競馬場	期別	売得金額 (円)	1日平均 (円)	賞金額 (円)	入場人員 (人)	1日平均 (人)
函館	1	918,608,200	153,101,366	78,945,000	33,098	5,516
	2	1,163,531,900	193,921,983	80,845,000	40,134	6,689
	計	2,082,140,100	173,511,675	159,790,000	73,232	6,103
岩見沢	1	1,045,783,400	174,297,233	80,560,000	22,094	3,682
	2	1,071,401,400	178,566,900	88,255,000	18,312	3,052
	3	1,129,765,400	188,294,233	93,575,000	19,514	3,252
	4	1,360,617,800	226,769,633	87,685,000	21,160	3,527
	5	1,239,353,800	206,558,966	95,475,000	18,382	3,064
	計	5,846,921,800	194,897,393	445,550,000	99,462	3,315
旭川	1	664,103,800	110,683,966	97,375,000	14,781	2,464
	2	645,560,200	107,593,366	86,830,000	14,001	2,334
	計	1,309,664,000	109,138,666	184,205,000	28,782	2,399
帯広	1	764,553,600	127,425,600	95,570,000	17,496	2,916
	2	730,716,600	121,786,100	99,750,000	14,708	2,451
	計	1,495,270,200	124,605,850	195,320,000	32,204	2,684
札幌	1	1,986,363,300	331,060,550	92,055,000	44,694	7,449
	2	2,526,011,300	421,001,883	108,775,000	53,668	8,945
	3	2,416,434,300	402,739,050	107,730,000	46,576	7,763
	4	2,369,512,500	394,918,750	107,540,000	49,606	8,268
	5	2,115,553,800	352,592,300	95,855,000	37,444	6,241
	6	2,280,303,800	380,050,633	118,180,000	39,711	6,619
	計	13,694,179,000	380,393,861	630,135,000	271,699	7,547
合計		24,428,175,100	239,491,912	1,615,000,000	505,379	4,955

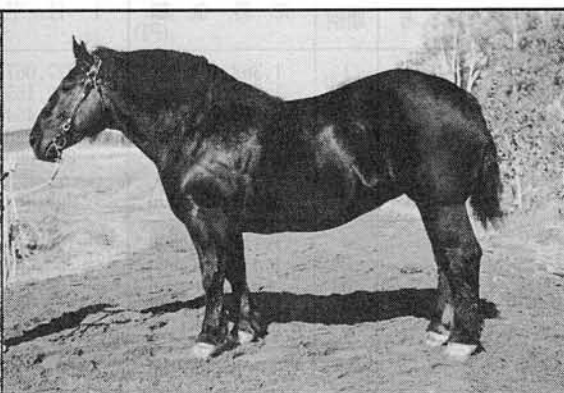
## 昭和58年度引退馬(表彰馬)



### アイスリヤル号

- 1.生年月日 昭和49年5月5日
- 2.生産地 標茶町
- 3.生産者 佐々木 憲 昭
- 4.通算成績 142戦20勝
- 5.取得賞金額 45,970,500円
- 6.性・毛色 牡 鹿
- 7.血 統

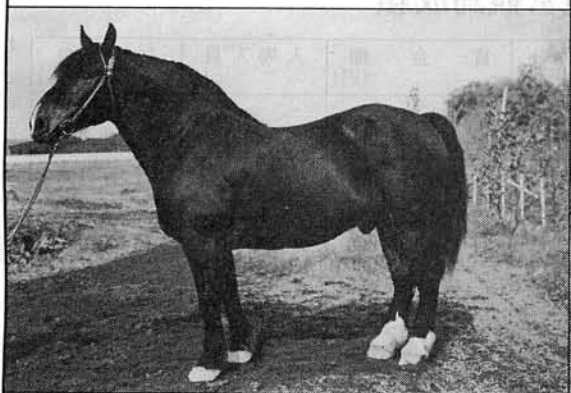
中半 興 玉 — 半血 富 士  
 半血 興 春



### オオマサ号

- 1.生年月日 昭和49年4月2日
- 2.生産地 網走市
- 3.生産者 佐藤 敏 夫
- 4.通算成績 143戦17勝
- 5.取得賞金額 11,825,000円
- 6.性・毛色 牡 青
- 7.血 統

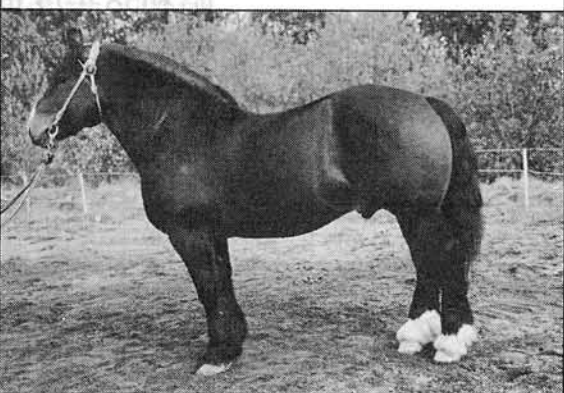
ベル系 新 風 — 半血 アプレス  
 ベル系 威光



### オシマイチ号

- 1.生年月日 昭和49年4月22日
- 2.生産地 北檜山町
- 3.生産者 八坂 稜
- 4.通算成績 147戦13勝
- 5.取得賞金額 14,348,000円
- 6.性・毛色 騾 鹿
- 7.血 統

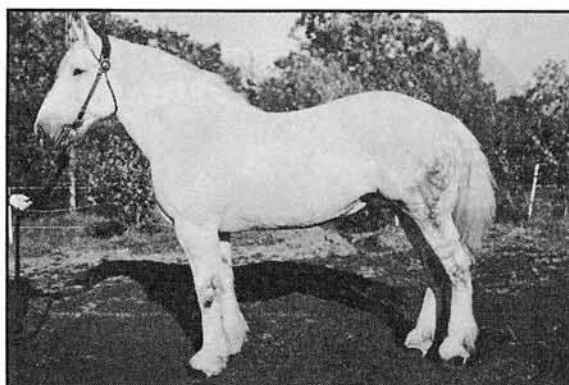
重系 北の海 — 重半 英 雄  
 ベル系 竜 星



### カイザンオ号

- 1.生年月日 昭和49年4月30日
- 2.生産地 幕別町
- 3.生産者 浅井嘉市
- 4.通算成績 133戦21勝
- 5.取得賞金額 24,463,000円
- 6.性・毛色 牡 鹿
- 7.血 統

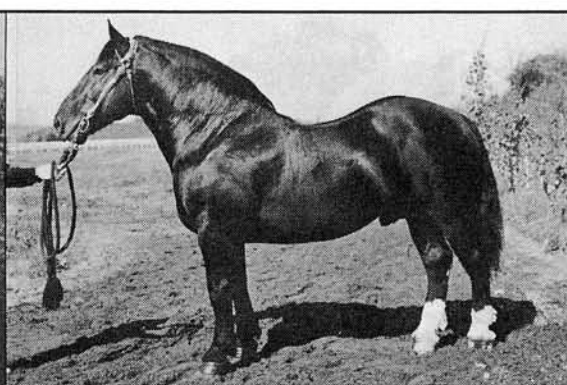
重半 豊 鯉 — プル 鉄 鯉  
 ベル ロッシー姫



### カンリュウ号

- 1.生年月日 昭和49年4月24日
- 2.生産地 紋別市
- 3.生産者 俵 孫一
- 4.通算成績 118戦17勝
- 5.取得賞金額 10,254,000円
- 6.性・毛色 牝 芦
- 7.血統

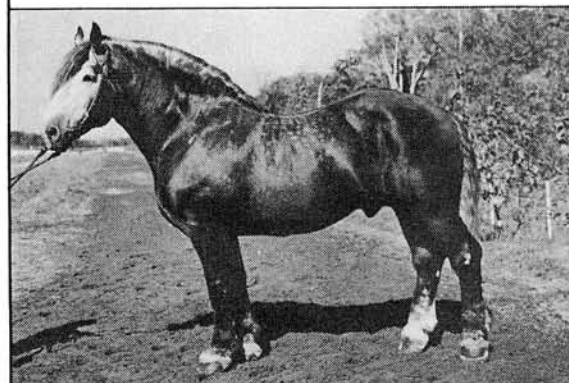
ベル系 初姫 — ベル 楓朝  
重系 春風



### キタノダイリュウ号

- 1.生年月日 昭和49年4月18日
- 2.生産地 網走市
- 3.生産者 遠藤 竹市
- 4.通算成績 127戦22勝
- 5.取得賞金額 20,568,000円
- 6.性・毛色 牡 鹿
- 7.血統

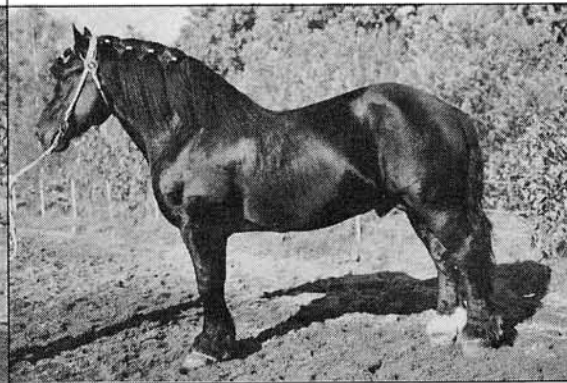
重系 大隆 — ベル 二世ロッシーニ  
半血 初花



### キョウエイ号

- 1.生年月日 昭和49年5月3日
- 2.生産地 紋別市
- 3.生産者 阿部 良三
- 4.通算成績 124戦31勝
- 5.取得賞金額 69,436,000円
- 6.性・毛色 牡 芦
- 7.血統

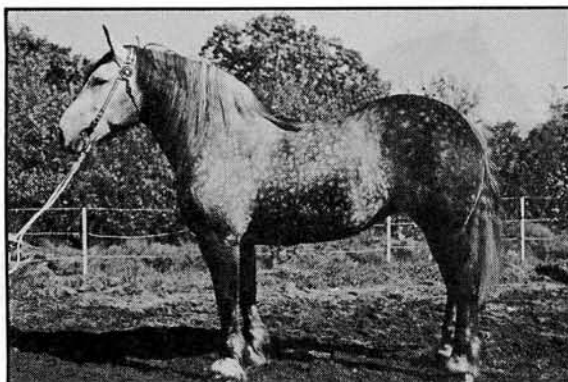
ベル系 共栄 — ベル 楓朝  
ベル系 宝春



### キョクイチ号

- 1.生年月日 昭和49年5月24日
- 2.生産地 本別町
- 3.生産者 今野 忠志
- 4.通算成績 156戦22勝
- 5.取得賞金額 36,390,000円
- 6.性・毛色 牡 青
- 7.血統

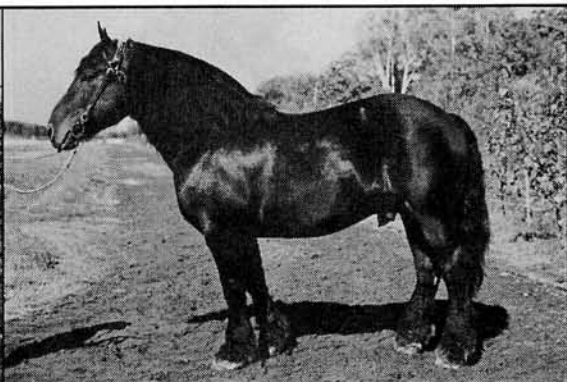
ベル系 弾雄 — ベル ダンディ  
重半 晏梅



### キヨヒメ号

- 1.生年月日 昭和49年4月10日
- 2.生産地 興部町
- 3.生産者 松島太市
- 4.通算成績 166戦20勝
- 5.取得賞金額 87,992,000円
- 6.性・毛色 牝 芦
- 7.血統

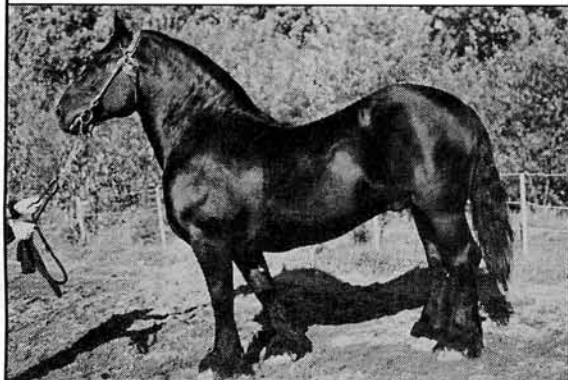
重系 豊来 — ペル 楓朝  
半血 豊栄



### クレナイ号

- 1.生年月日 昭和49年4月19日
- 2.生産地 奥尻町
- 3.生産者 相馬亮一
- 4.通算成績 146戦15勝
- 5.取得賞金額 10,120,000円
- 6.性・毛色 牡 鹿
- 7.血統

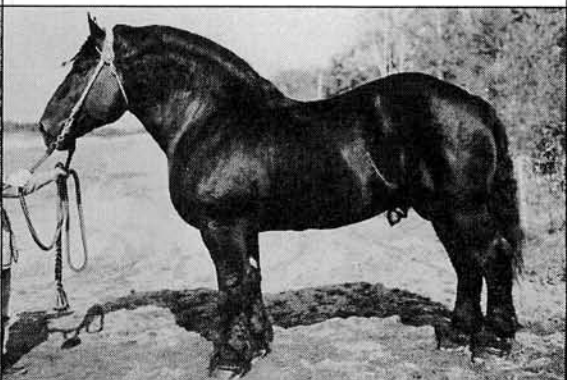
重系 第2紅 — 重系 干竜  
重系 紅



### ショウワフジ号

- 1.生年月日 昭和49年4月20日
- 2.生産地 陸別町
- 3.生産者 小松八郎
- 4.通算成績 139戦11勝
- 5.取得賞金額 6,235,000円
- 6.性・毛色 雄 青
- 7.血統

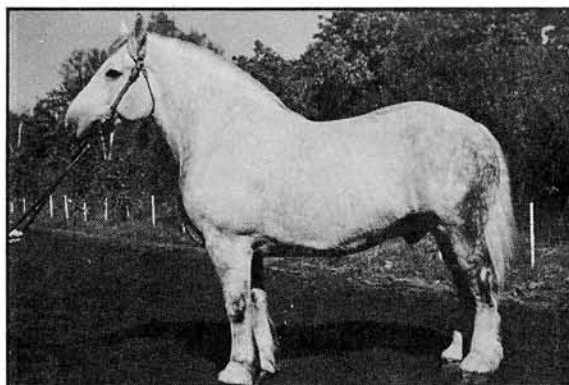
ベル オイデ — ペル 第二オデオン  
重系 初姫



### スイショウ号

- 1.生年月日 昭和49年4月5日
- 2.生産地 幕別町
- 3.生産者 長谷川勉
- 4.通算成績 149戦35勝
- 5.取得賞金額 43,326,000円
- 6.性・毛色 牡 青
- 7.血統

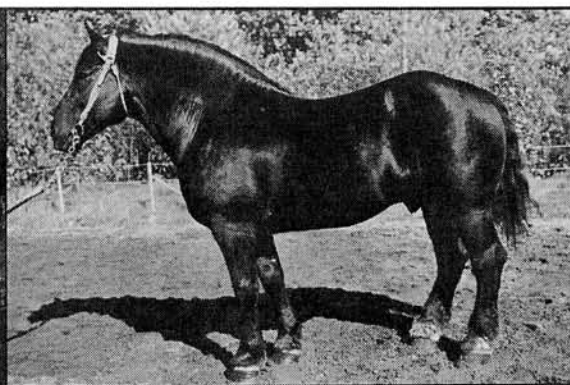
ベル系 ガリーナー — ペル 久都  
ベル系 姫花



### スピードビジョン号

- 1.生年月日 昭和49年4月15日
- 2.生産地 清里町
- 3.生産者 熊谷倉吉
- 4.通算成績 147戦11勝
- 5.取得賞金額 18,509,000円
- 6.性・毛色 騾 芦
- 7.血統

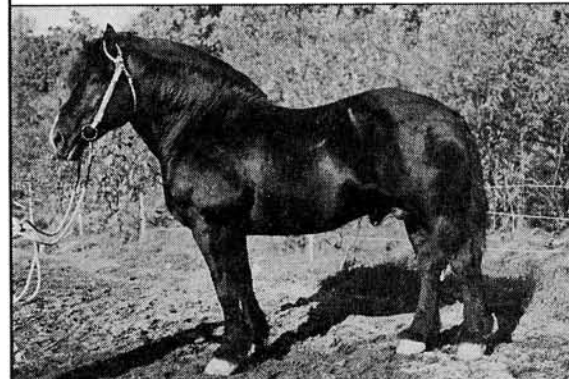
ベル系 豊駿 — ペル 二世ロッシーニ  
 — ベル系 初姫



### タカユキ号

- 1.生年月日 昭和49年5月1日
- 2.生産地 根室市
- 3.生産者 村島孝志
- 4.通算成績 140戦17勝
- 5.取得賞金額 18,102,000円
- 6.性・毛色 牡 青
- 7.血統

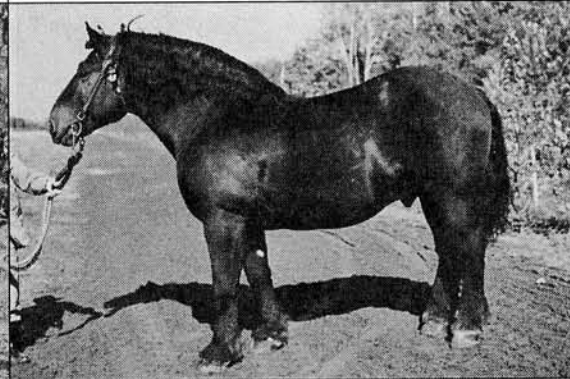
重半 根室1 — ペル 第一ニジェリア  
 — 中半 初姫



### タカラオートリ号

- 1.生年月日 昭和49年4月17日
- 2.生産地 浜中町
- 3.生産者 梶原隆二
- 4.通算成績 147戦19勝
- 5.取得賞金額 25,317,000円
- 6.性・毛色 牡 青
- 7.血統

重系 第一オートリ — ペル 第17オートリ  
 — 重半 初姫

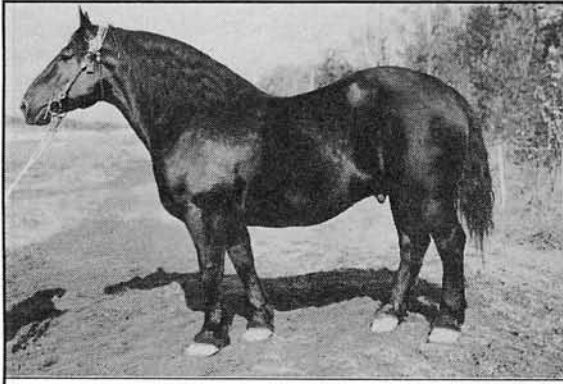


### タカラカチドキ号

- 1.生年月日 昭和49年4月11日
- 2.生産地 足寄町
- 3.生産者 佐々木哲夫
- 4.通算成績 122戦8勝
- 5.取得賞金額 5,504,000円
- 6.性・毛色 牡 鹿
- 7.血統

重半 旭山 — ブル エレガン  
 — 重系 第一旭

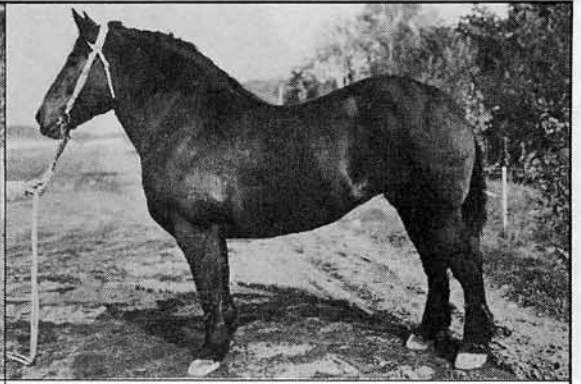




### ダイケツ号

- 1.生年月日 昭和49年5月5日
- 2.生産地 豊頃町
- 3.生産者 中川吉松
- 4.通算成績 170戦15勝
- 5.取得賞金額 54,302,000円
- 6.性・毛色 牡青
- 7.血統

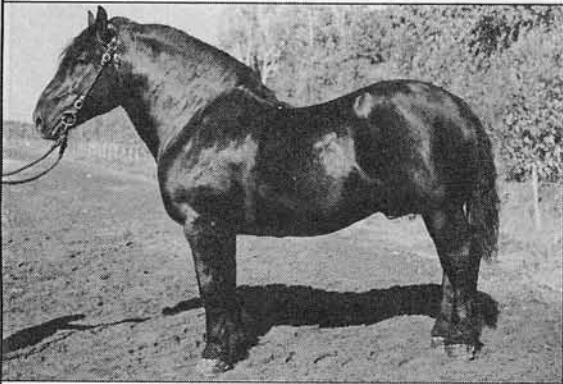
ブル系 大沢 — ブル 鉄鯉  
 重半 第十世小波



### ダイニジャンボヒメ号

- 1.生年月日 昭和49年4月20日
- 2.生産地 上湧別町
- 3.生産者 野村忠雄
- 4.通算成績 150戦12勝
- 5.取得賞金額 11,153,000円
- 6.性・毛色 牝鹿
- 7.血統

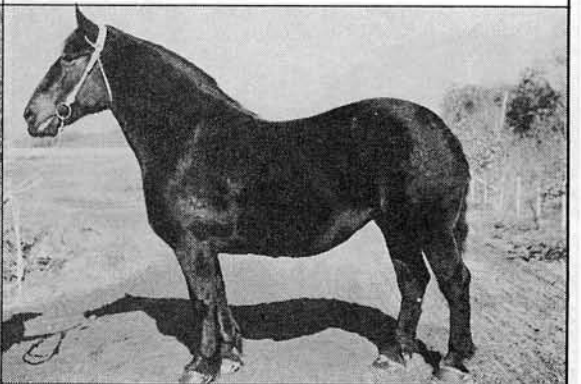
重半 第2ジャンボヒメ — ブル キナール  
 ペル ジャンボヒメ



### トキノリュウセイ号

- 1.生年月日 昭和49年5月17日
- 2.生産地 紋別市
- 3.生産者 上田仁三
- 4.通算成績 142戦16勝
- 5.取得賞金額 13,140,000円
- 6.性・毛色 牡青
- 7.血統

重半 栄山 — ペル 楓朝  
 中半 栄姫



### ドウホクチドリ号

- 1.生年月日 昭和49年4月13日
- 2.生産地 網走市
- 3.生産者 高石正助
- 4.通算成績 153戦17勝
- 5.取得賞金額 24,658,000円
- 6.性・毛色 牝黒鹿
- 7.血統

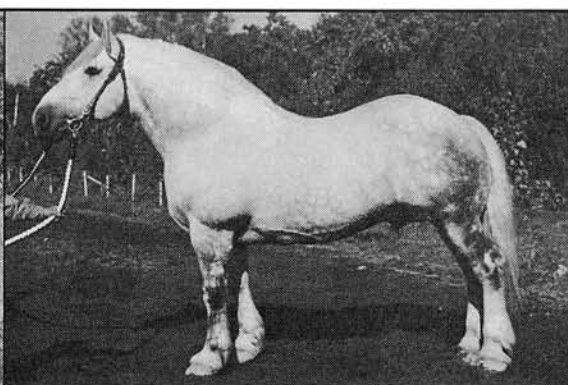
重系 第2宝姫 — ペル アプレス  
 重系 宝姫



### ネムロホマレ号

1. 生年月日 昭和49年5月10日
2. 生産地 中標津町
3. 生産者 渡辺利夫
4. 通算成績 137戦15勝
5. 取得賞金額 8,200,000円
6. 性・毛色 牡青
7. 血統

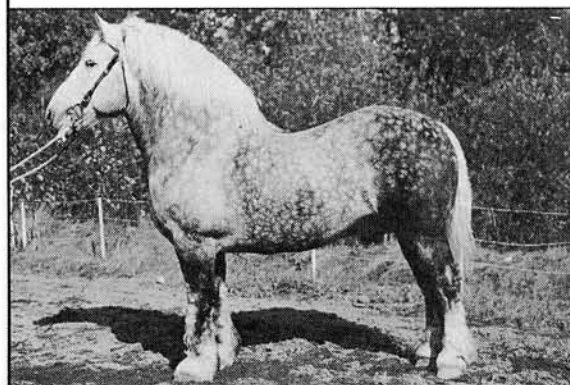
中半 根室誉 — 中半 王根  
重半 初姫



### ハクテンリュウ号

1. 生年月日 昭和49年4月8日
2. 生産地 長万部町
3. 生産者 山崎正
4. 通算成績 148戦18勝
5. 取得賞金額 17,468,000円
6. 性・毛色 牡芦
7. 血統

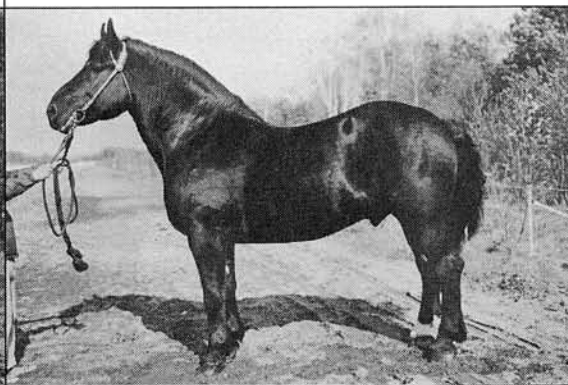
ベル 第3 ロッシーニ — ベル ヒタチオー  
ベル 第三世レクスウ姫



### ヒロホマレ号

1. 生年月日 昭和49年5月12日
2. 生産地 紋別市
3. 生産者 近藤政勝
4. 通算成績 135戦15勝
5. 取得賞金額 14,950,000円
6. 性・毛色 牡芦
7. 血統

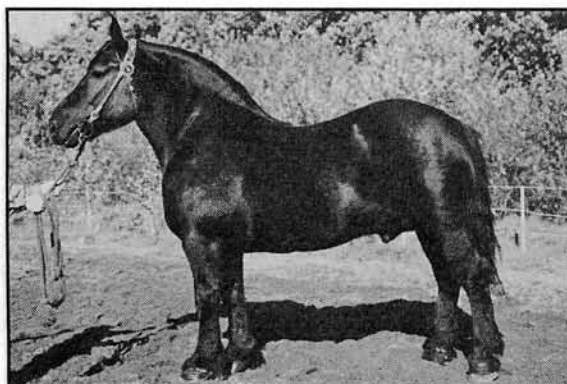
ベル系 奥勝 — ベル 得良  
重系 勝姫



### フジ号

1. 生年月日 昭和49年5月2日
2. 生産地 阿寒町
3. 生産者 佐藤キチノ
4. 通算成績 122戦22勝
5. 取得賞金額 29,368,000円
6. 性・毛色 牡青
7. 血統

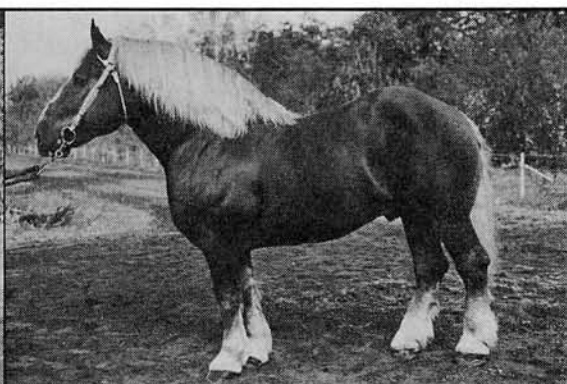
ベル系 松竜 — ベル 2世ロッシーニ  
重半 松花



### フジノサカエ号

- 1.生年月日 昭和49年4月25日
- 2.生産地 白糠町
- 3.生産者 井出 武
- 4.通算成績 104戦12勝
- 5.取得賞金額 8,311,000円
- 6.性・毛色 騾 青
- 7.血統

ベル系 昇 宝 — ベル ボルール  
 — ベル系 是 姫



### マサヒカリ号

- 1.生年月日 昭和49年3月28日
- 2.生産地 池田町
- 3.生産者 太田 和春
- 4.通算成績 152戦20勝
- 5.取得賞金額 22,296,000円
- 6.性・毛色 牡 栗
- 7.血統

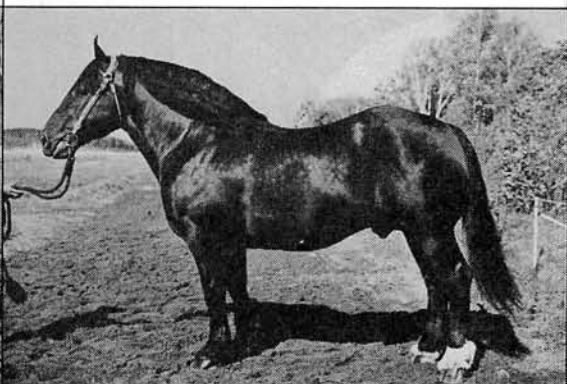
重半 勇 — ブル キブロク  
 — 重系 雅 勇



### ミスアカイサワ号

- 1.生年月日 昭和49年4月10日
- 2.生産地 松前町
- 3.生産者 丸山 元治
- 4.通算成績 148戦22勝
- 5.取得賞金額 29,735,000円
- 6.性・毛色 牝 鹿
- 7.血統

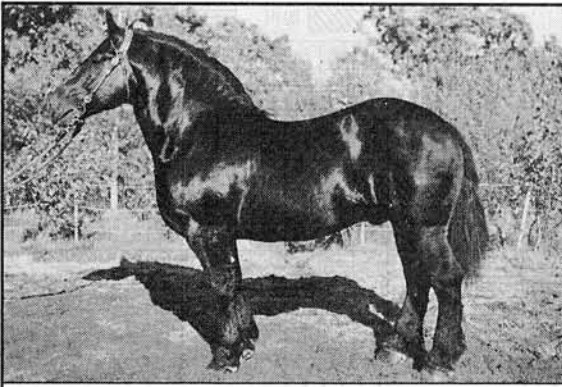
重半 藤 姫 — ベル 大宝  
 — 重半 栄華



### ユウコーマル号

- 1.生年月日 昭和49年5月10日
- 2.生産地 浦幌町
- 3.生産者 神谷 信雄
- 4.通算成績 139戦19勝
- 5.取得賞金額 23,321,000円
- 6.性・毛色 牡 鹿
- 7.血統

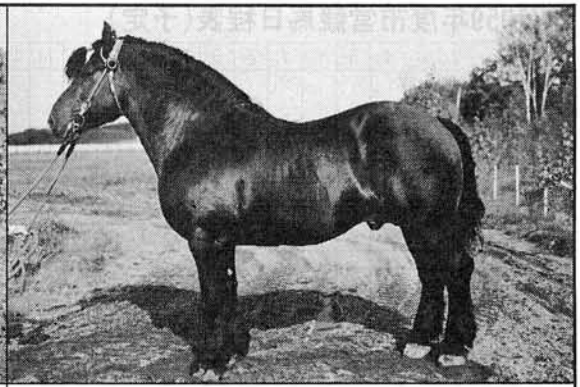
中半 秀 鯉 — ブル 鉄 鯉  
 — 重半 秀 姫



### ユウホウ号

- 1.生年月日 昭和49年5月10日
- 2.生産地 東藻琴村
- 3.生産者 本田 剛太
- 4.通算成績 150戦22勝
- 5.取得賞金額 29,573,000円
- 6.性・毛色 牡 青
- 7.血統

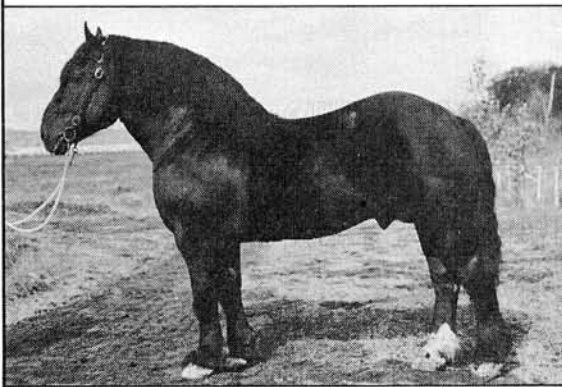
重半 勇湖 — ベル 二世ロッシーニ  
                   — 中半 姫桜



### ライデン号

- 1.生年月日 昭和49年4月14日
- 2.生産地 音更町
- 3.生産者 谷口 鶴之助
- 4.通算成績 136戦13勝
- 5.取得賞金額 14,952,000円
- 6.性・毛色 牡 鹿
- 7.血統

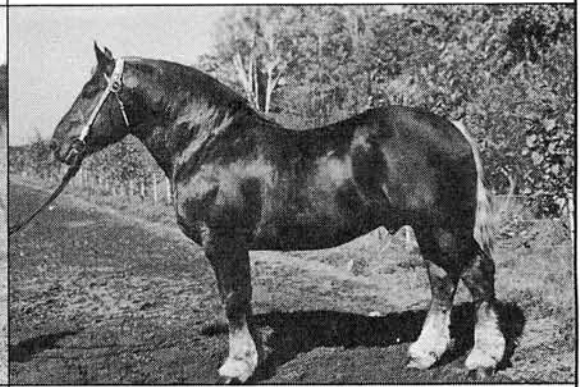
重半 蘭栄 三世 — 重半 カチサカエ  
                                   — 重半 グランドレッサー



### リクオウ号

- 1.生年月日 昭和49年4月8日
- 2.生産地 幕別町
- 3.生産者 大西 信雄
- 4.通算成績 110戦18勝
- 5.取得賞金額 9,772,000円
- 6.性・毛色 牡 青
- 7.血統

ベル 第二ボンシの1 — ベル 久都  
                                   — ベル 第十三イデユメー



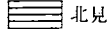



### リュウショウ号

- 1.生年月日 昭和49年4月5日
- 2.生産地 上士幌町
- 3.生産者 岩瀬 準一
- 4.通算成績 135戦16勝
- 5.取得賞金額 9,382,000円
- 6.性・毛色 牡 栗
- 7.血統

ブル系 滝 昭 — ブル ボヌール  
                                   — 重半 姫モダイ

昭和59年度市営競馬日程表(予定)

 岩見沢 
  旭川 
  北見 
  帯広

4	①	2	3	4	5	6	7	⑧	9	10	11	12	13	14	⑮	16	17	18	19	20	21	⑳	23	24	25	26	27	28	㉓	30		
月																																
5	1	2	③	4	⑤	⑥	7	8	9	10	11	12	⑬	14	15	16	17	18	19	⑳	21	22	23	24	25	26	⑳	28	29	30	31	
月																																
6	1	2	③	4	5	6	7	8	9	⑩	11	12	13	14	15	16	⑰	18	19	20	21	22	23	㉒	25	26	27	28	29	30		
月																																
7	①	2	3	4	5	6	7	⑧	9	10	11	12	13	14	⑮	16	17	18	19	20	21	㉒	23	24	25	26	27	28	㉓	30	31	
月																																
8	1	2	3	4	⑤	6	7	8	9	10	⑪	12	13	14	15	16	17	18	⑰	20	21	22	23	24	25	㉒	27	28	29	30	31	
月																																
9	1	②	3	4	5	6	7	8	⑨	10	11	12	13	14	⑮	⑯	17	18	19	20	21	22	㉒	24	25	26	27	28	29	⑳		
月																																
10	1	2	3	4	5	6	⑦	8	9	⑩	11	12	13	⑭	15	16	17	18	19	20	⑳	22	23	24	25	26	27	㉒	29	30	31	
月																																
11	1	2	③	④	5	6	7	8	9	10	⑪	12	13	14	15	16	17	⑰	19	20	21	22	㉒	24	㉓	26	27	28	29	30		
月																																
12	1	②	3	4	5	6	7	8	⑨	10	11	12	13	14	15	⑯	17	18	19	20	21	22	㉒	24	25	26	27	28	29	⑳	31	
月																																

昭和59年度道営競馬日程表(予定)

 帯広 
  旭川 
  岩見沢 
  札幌

4	①	2	3	4	5	6	7	⑧	9	10	11	12	13	14	⑮	16	17	18	19	20	21	㉒	23	24	25	26	27	28	㉓	30		
月																																
5	1	2	③	4	⑤	⑥	7	8	9	10	11	12	⑬	14	15	16	17	18	19	⑳	21	22	23	24	25	26	㉒	28	29	30	31	
月																																
6	1	2	③	4	5	6	7	8	9	⑩	11	12	13	14	15	16	⑰	18	19	20	21	22	23	㉒	25	26	27	28	29	30		
月																																
7	①	2	3	4	5	6	7	⑧	9	10	11	12	13	14	⑮	16	17	18	19	20	21	㉒	23	24	25	26	27	28	㉓	30	31	
月																																
8	1	2	3	4	⑤	6	7	8	9	10	⑪	12	13	14	15	16	17	18	⑰	20	21	22	23	24	25	㉒	27	28	29	30	31	
月																																
9	1	②	3	4	5	6	7	8	⑨	10	11	12	13	14	⑮	⑯	17	18	19	20	21	22	㉒	24	25	26	27	28	29	⑳		
月																																
10	1	2	3	4	5	6	⑦	8	9	⑩	11	12	13	⑭	15	16	17	18	19	20	⑳	22	23	24	25	26	27	㉒	29	30	31	
月																																
11	1	2	③	④	5	6	7	8	9	10	⑪	12	13	14	15	16	17	⑰	19	20	21	22	㉒	24	㉓	26	27	28	29	30		
月																																





昭和59年 3 月

札幌市北区北10条西 4 丁目北海道畜産会館 2 階 (TEL) 代表747—5345